

2025年11月16日

# 【令和7年 世田谷区遺跡調査研究発表会】

## 横穴墓から見た世田谷区の古代



松崎 元樹（東京都埋蔵文化財センター）

# I 多摩川流域の古墳文化

# ●東京の古墳の数＝約800か所

- ・ 古墳時代前期…………約10基
- ・ 古墳時代中期…………約50基
- ・ 古墳時代後期・終末期…700基以上  
→約70%が横穴墓
- ・ 大部分が後期(6～7世紀)の古墳
- ・ 分布地域:武蔵野台地から多摩丘陵
- ・ および東京低地周辺
- ・ 明治以前に失われた古墳も多い
- ・ 明治30年(1897) 東京帝大の坪井正五郎による芝丸山古墳群の調査

# ●世田谷区では？

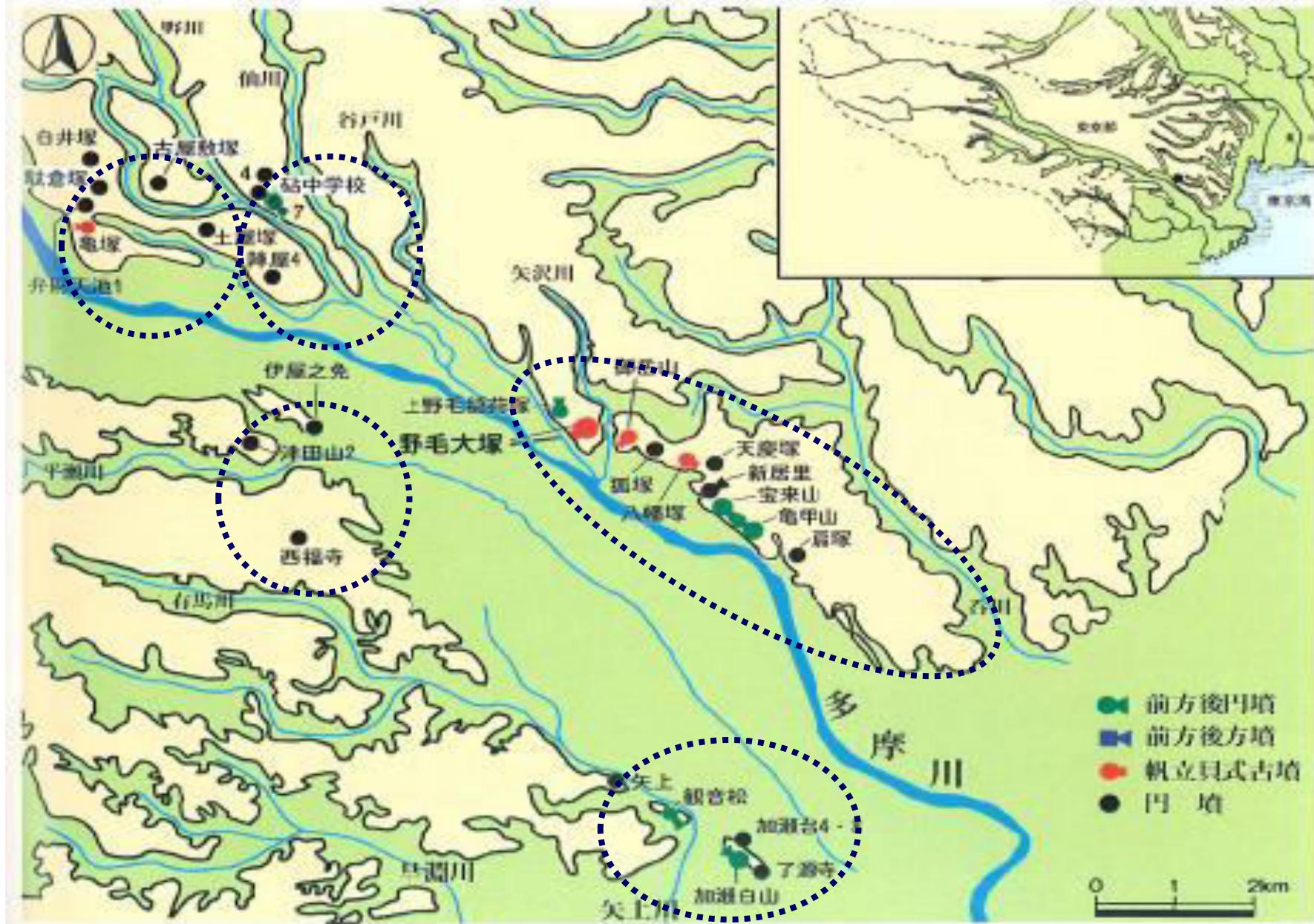
## 世田谷区の古墳数

- 墳丘(マウンド)をもつ古墳………約100基
  - ・4世紀末～7世紀後半

- △崖に掘られた横穴墓………約150基以上
  - ・7世紀前葉～8世紀初め

\* おもに古墳時代後・終末期(6世紀～7世紀)  
に多く築造される

# ●多摩川中・下流域の古墳分布

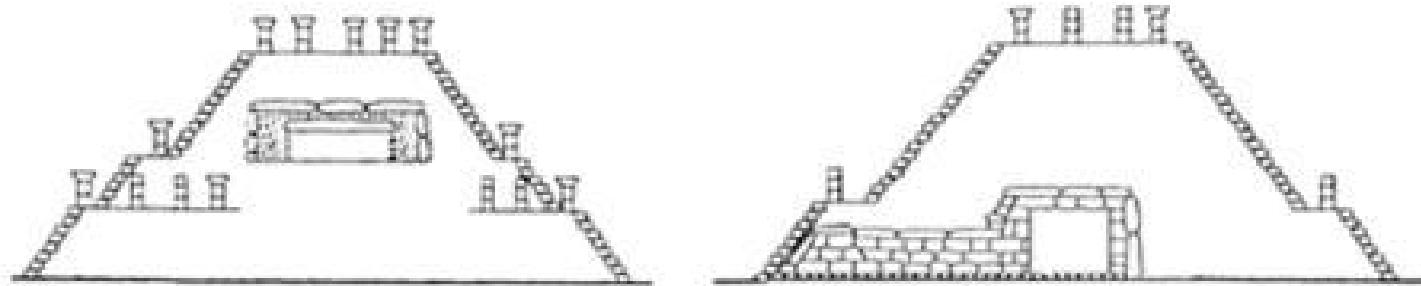


# ● 田園調布・野毛古墳群の分布



# ● 古墳時代の時期区分と埋葬施設

年代	3世紀	4世紀	5世紀				6世紀				7世紀				
区分	前期			中期				後期				終末期			
土器編年	庄内式	市畠式		TK 73	TK 216	TK 208	TK 23	TK 47	MT 15	TK 10	TK 43	TK 209	TK 217	TK 46	TK 48
系統編年												I	II	III	IV
東京画期		1期		2期		3期		4期		5期					
埋葬施設	竪穴系(石室・木棺・粘土櫛)										横穴系(石室・横穴墓)				



竪穴式石室

横穴式石室

## ● 多摩川流域の古墳時代区分の指標

- 1期 下流域両岸に大型前方後円墳が出現
- 2期 中・下流域に帆立貝形古墳が築造。副葬遺物に畿内の影響が顕著。
- 3期 竪穴系埋葬施設を有する円墳群（古式群集墳）の出現
- 4期 横穴式石室古墳の出現
- 5期 前方後円墳の消滅と群小古墳群（終末期群集墳）の出現

かみつけの(山)  
武藏・上毛野の主要古墳と年代

年代	川崎・横浜市域	田園調布	野毛	砧	狛江	北武藏	上毛野
4世紀		■ 扇塚					前橋八幡山 前橋天神山
	白山 稲荷前 16号 観音松 虚空蔵山	宝来山 龟甲山 西岡31号	上野毛 稻荷塚	砧中学校 7号		野本將軍塚 雷電山	浅間山 帽子塚 大鶴巻 白山 稲荷山 別所 茶臼山 お富士山
5世紀	了源寺 1号 力之塚 矢上 6号 西福寺 朝光寺原 1号 綱島 3号	西岡32号 丸山 赤坂	野毛大塚 天慶塚 八幡塚 御岳山 狐塚	4号 喜多見 陣屋4号 下山1号 第六天塚	歌倉塚 弁財天池 白井塚 経塚 兜塚	古屋敷塚 土屋塚 東塚 権北塚 東和泉8 龟塚 丸墓山	埼玉稻荷山 女体山 太田天神山 鶴山 丸二子 前二子 七興山 中二子
6世紀	2号 浅間神社 西岡28号 多摩川台2号 多摩川台1号	野毛9号 野毛3号 野毛2号 尾山北原塚 スクモ塚 等々力塚1号	野毛4号 野毛6号	慶元寺1号 8号 陣屋6号	松原東稻荷塚 網山塚 兜塚	東和泉6 東和泉2 東和泉4 前原塚 埼玉二子山	埼玉將軍塚 後二子 天川 綿貫 観音山
7世紀		摩川台3号 摩川台8号 浅間塚		稲荷塚 宮之原1号 陣屋14号 陣屋3号	殿山1号 殿山2号 大蔵1号	(※北武藏、上毛野は主要古墳のみ)	

たてあなけいまいもうしせつ もくたんかく  
■ 竪穴系埋葬施設 = 木炭槨・粘土槨・木棺

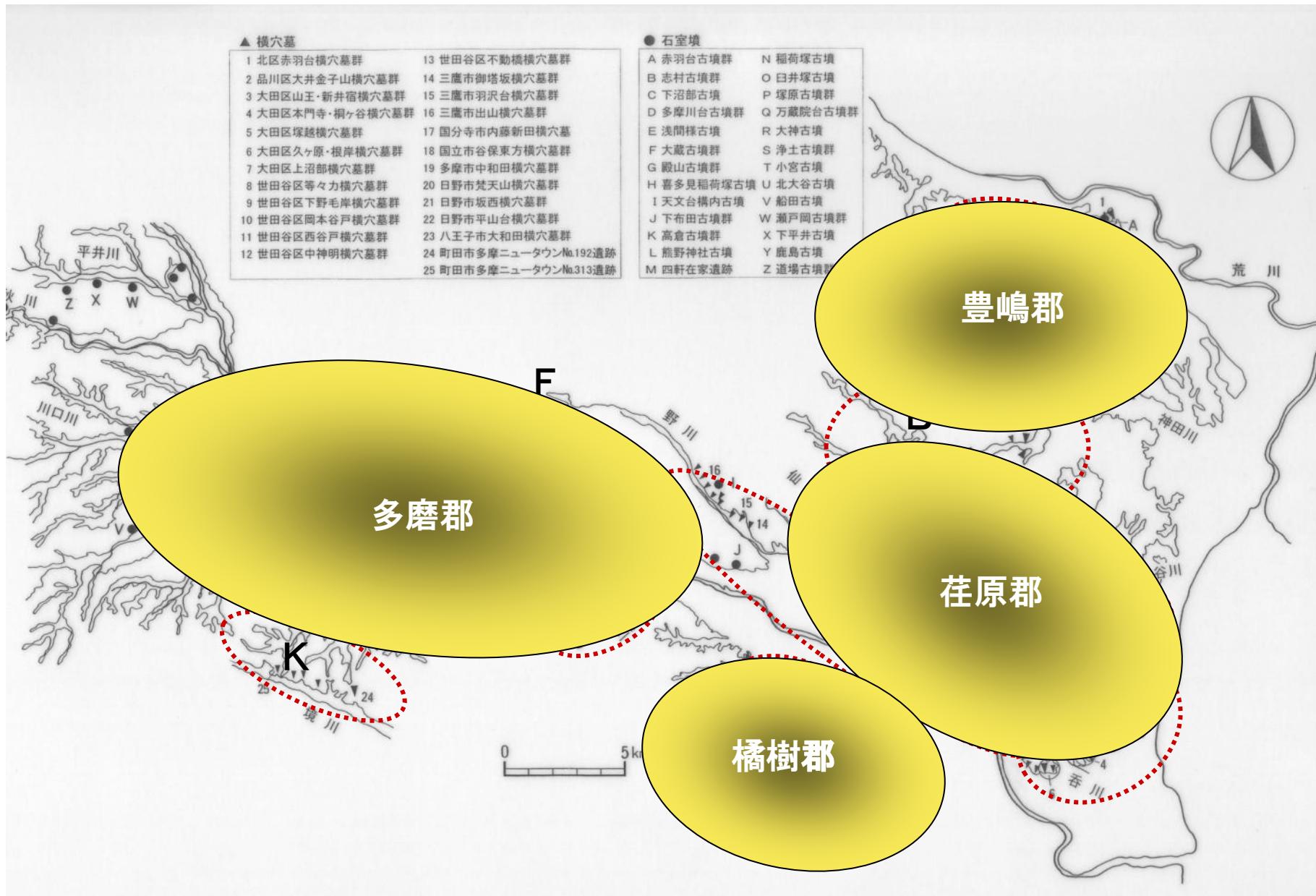
れきかく  
● 竪穴系埋葬施設 = 磨槨

よこあなしきせきしつ  
○ 横穴式石室

(寺田良喜 製作)

横穴墓がつくられた時期

# ●南武藏の横穴墓分布域



# ● 横穴墓が造られた時代とは？

8世紀	700	7世紀	600	6世紀
710 都が平城に移る	708 和同開珎がつくられる	701 大宝律令が定められる	672 壬申の乱起こる	663 白村江の戦い日本敗れる
701 大宝律令が定められる	672 壬申の乱起こる	645 大化の改新が始まる	630 第1回遣唐使	607 法隆寺が建てられる

奈良時代 | 飛鳥時代 | 古墳時代終末期 | 古墳時代後期

高松塚古墳 造古墳がなくななる

火葬が導入される

中神明横穴墓群

不動橋横穴墓群

西谷戸横穴墓群

等々力渓谷横穴墓群

殿山古墳群

喜多見稻荷塚古墳 前方後円墳が造られなくなる

## Ⅱ 世田谷の横穴墓群

## ① 横穴墓調査・研究のあゆみ

- 1934(昭和9) 瀬田滝ヶ谷横穴墓群(2基)の調査
- 1936(昭和11) 下野毛岸(11基)・等々力原(2基)・等々力根(1基)横穴墓群が西岡秀雄により報告。
- 1957(昭和32) 成城上神明遺跡で横穴墓調査
- 1959(昭和34) 岡本町横穴墓が区史編さん事業で調査
- 1960～1965(昭和35～40) 等々力渓谷、瀬田町、大蔵団地、野毛町内等で横穴墓(8基)調査。
- 1967(昭和42) 東名高速道路建設に伴い、大蔵地区で西谷戸横穴墓群(6基)が発見、調査。

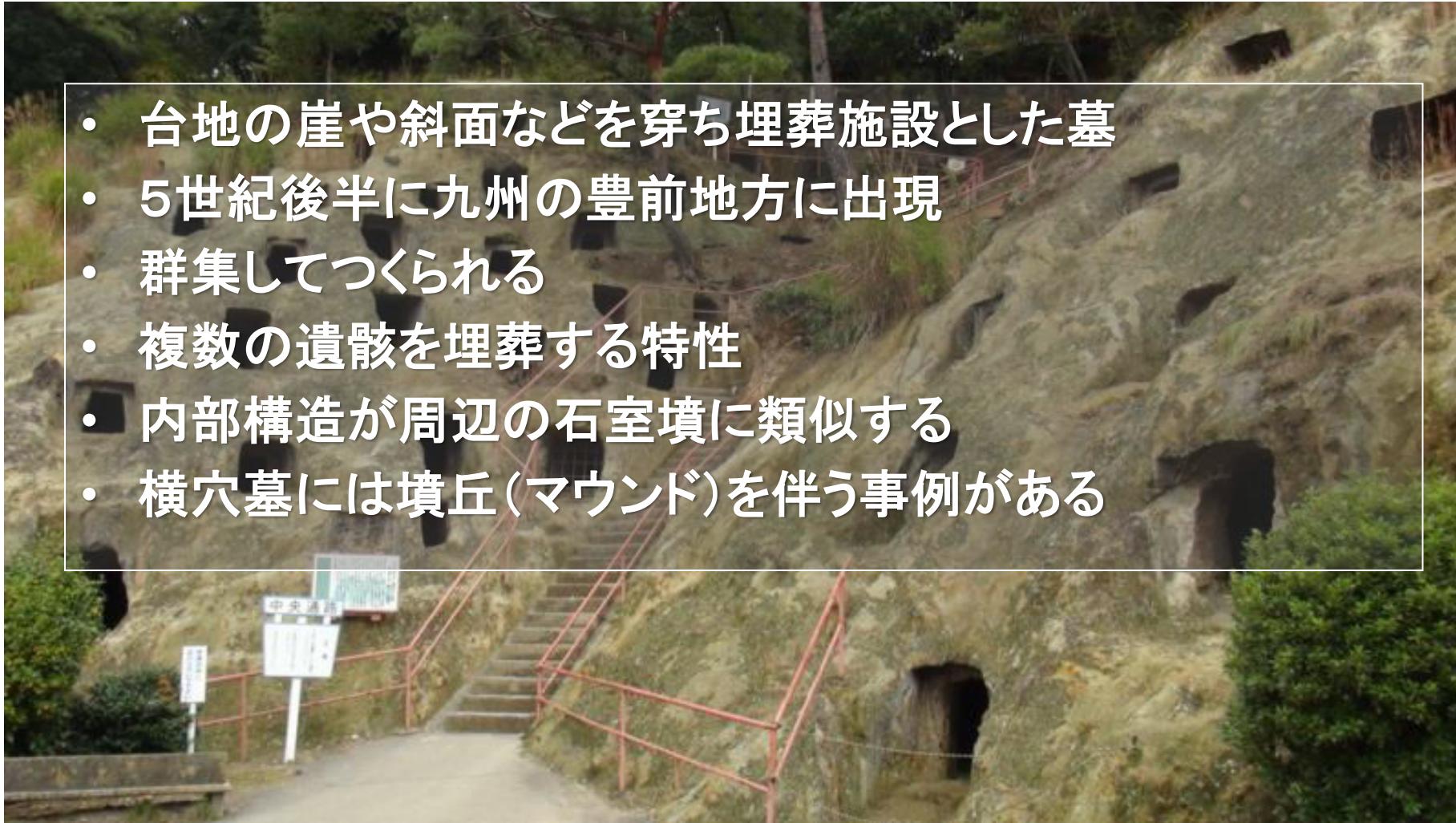


昭和30年～40年代にかけて多く発見、活発な調査が行われた

## ② 横穴墓(よこあなぼ)とは何か

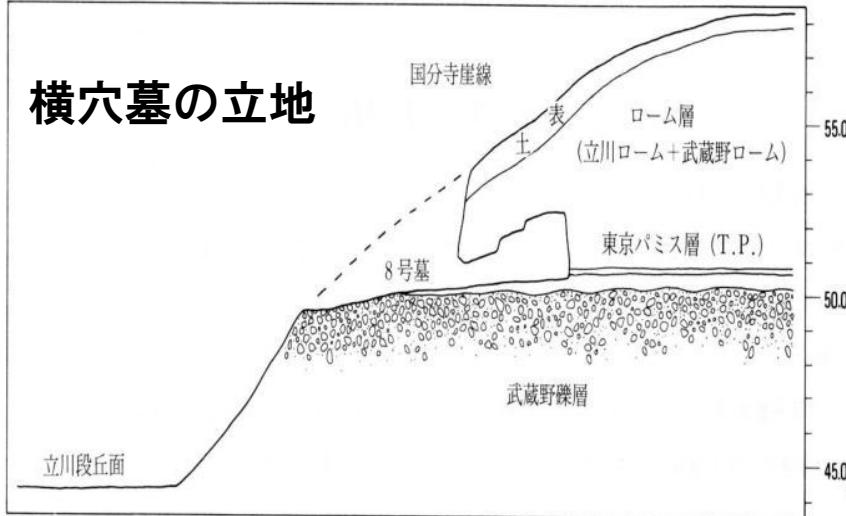
---

- ・台地の崖や斜面などを穿ち埋葬施設とした墓
- ・5世紀後半に九州の豊前地方に出現
- ・群集してつくられる
- ・複数の遺骸を埋葬する特性
- ・内部構造が周辺の石室墳に類似する
- ・横穴墓には墳丘(マウンド)を伴う事例がある



# ● 横穴墓の構造

## 横穴墓の立地



\*多摩川流域では主にローム台地に掘削されるが、軟質泥岩(土丹)層に掘削するものもある。

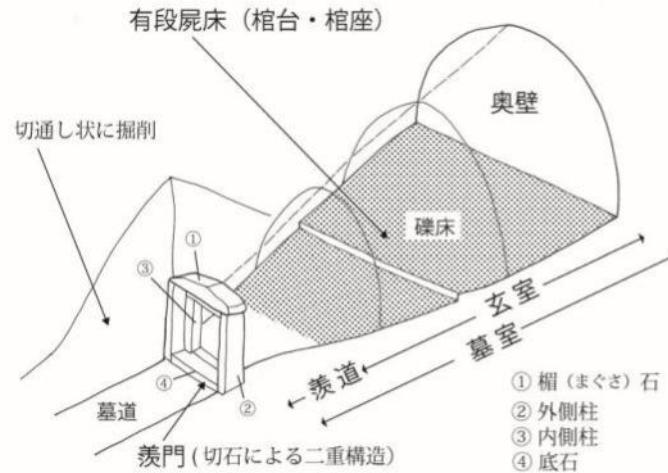
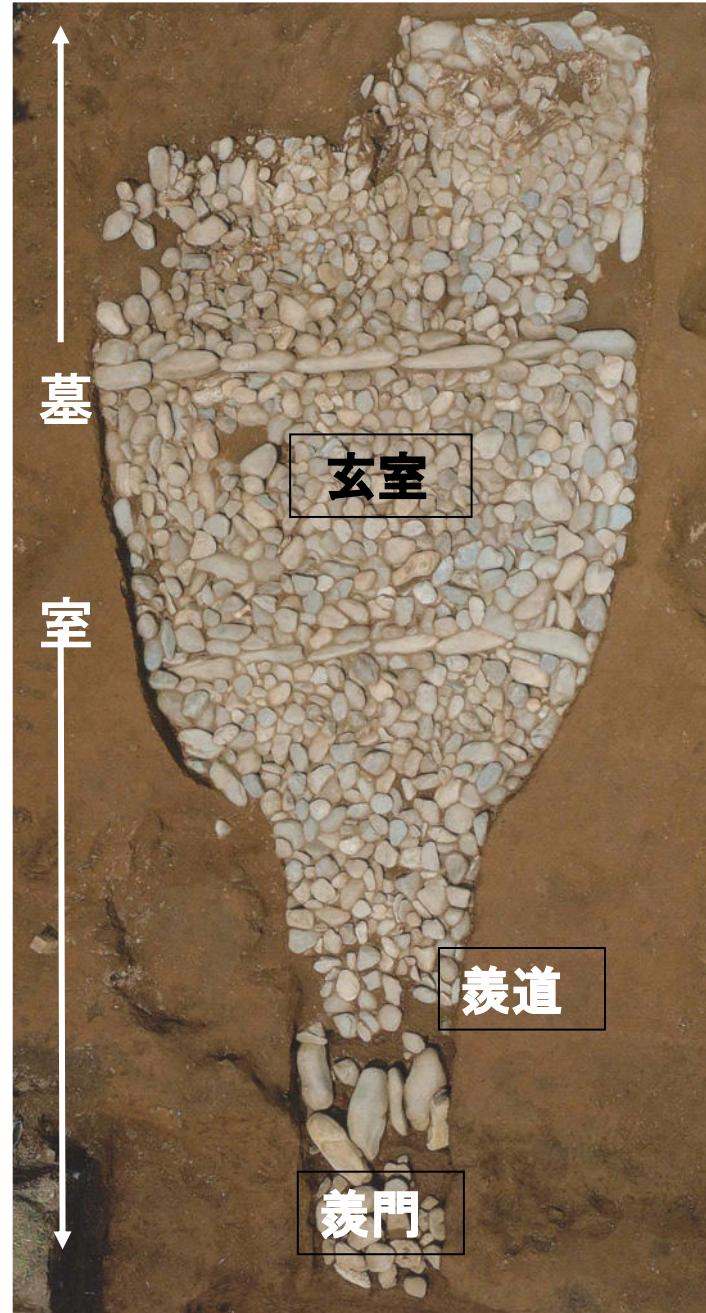


図 40 横穴墓の構造名称

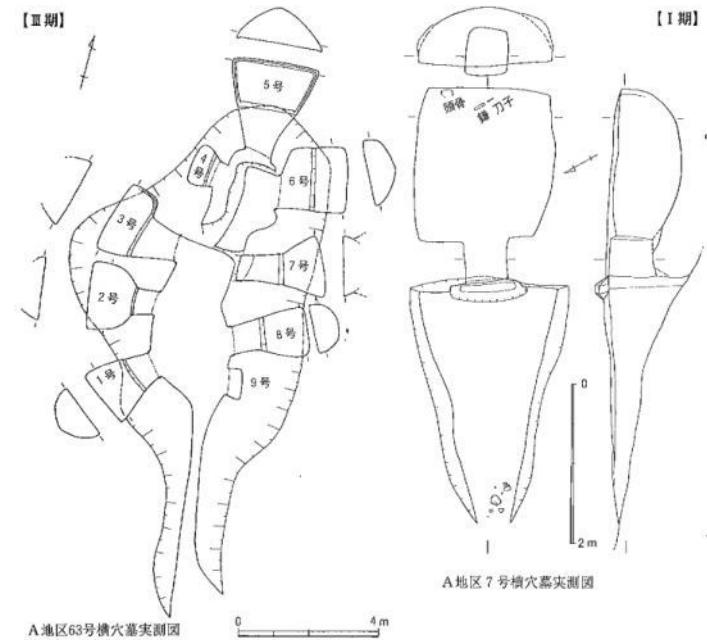


# ● 横穴墓の出現と伝播



横穴墓は北九州(豊前)地方で、5世紀後半に発生し、山陰、畿内、北陸、東海地域を経て、東日本の太平洋沿岸に伝播した。北限は宮城県迫川流域に至る。その分布には偏在性が見られる。

福岡県竹並遺跡の横穴墓群



# ● 百濟の横穴墓（韓国公州市丹芝里横穴墓群）



墓道と閉塞石



玄室

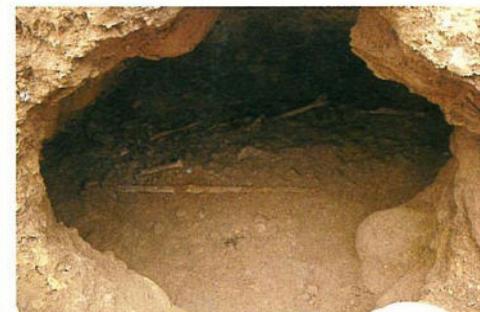
## 3号横穴墓

丘陵の斜面において、埋葬部に向かって入り口である墓道を、傾斜を持たせて掘り込み、板石によって閉じられた向こうに半円状の空間の玄室を持つ。

この構造は、北部九州における初期横穴墓に近似する。



遺物出土状況



初期横穴墓／大分県中津市上ノ原5号横穴墓

# ● 世田谷区内の古墳時代の遺跡分布



- ・区内の古墳や横穴墓は多摩川本・支流域に展開する。
- ・とくに、国分寺崖線沿いの野川流域や仙川流域には、横穴墓群が多く形成されている。
- ・中流域の殿山横穴墓群は、多摩川左岸流域における最古の横穴墓群といえる。
- ・同時期の集落は、崖線下の微高地上に存在する可能性がたかく、殿山横穴墓群周辺では、下野田遺跡が有力な候補である。

### ③ 世田谷区内の横穴墓群



#### 殿山横穴墓群(大蔵五丁目20番地)

**立地:野川流域の標高20~22mの国分寺崖線**

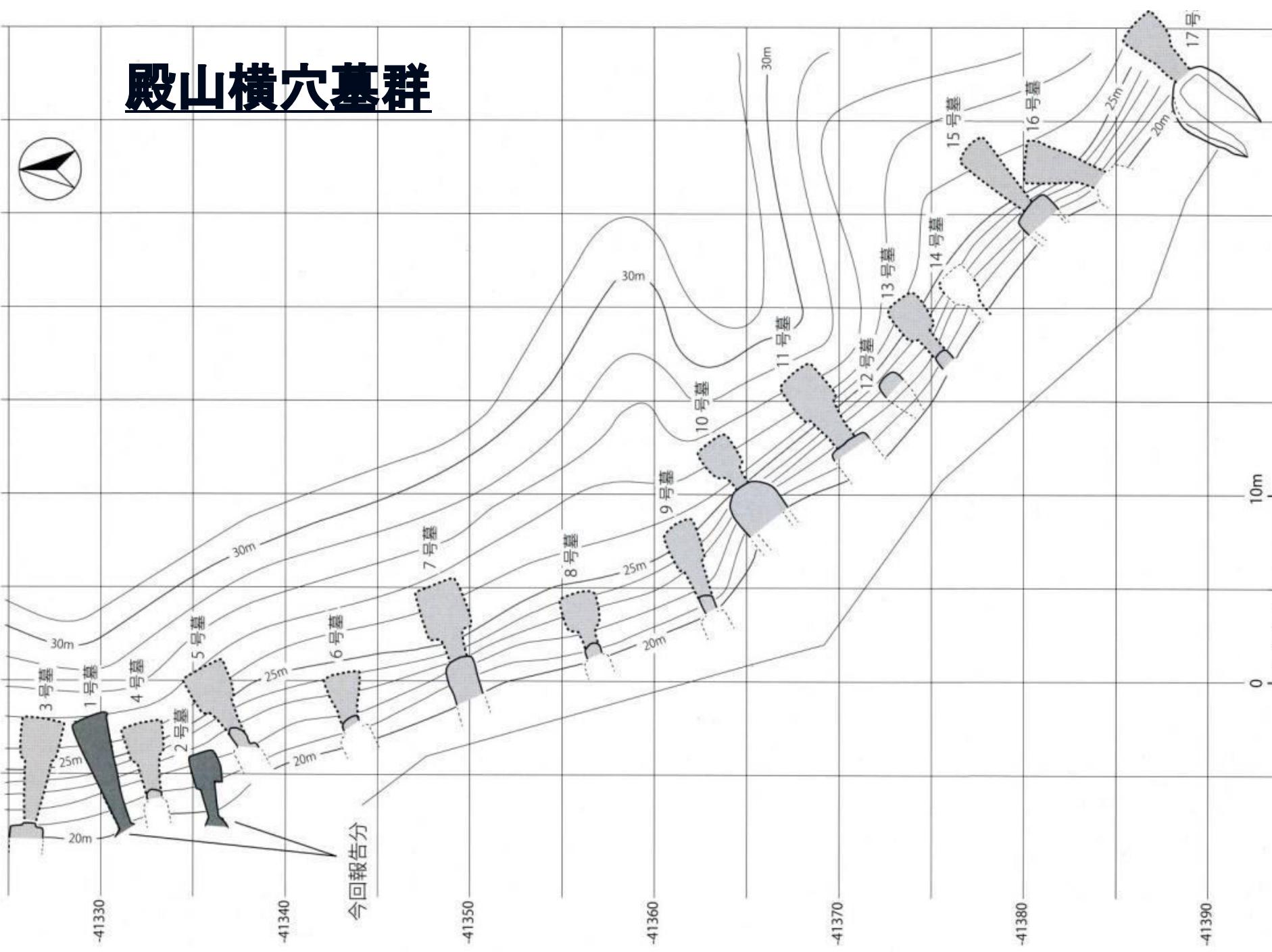
**規模:約20基**

**構成:全体で4~5グループ**

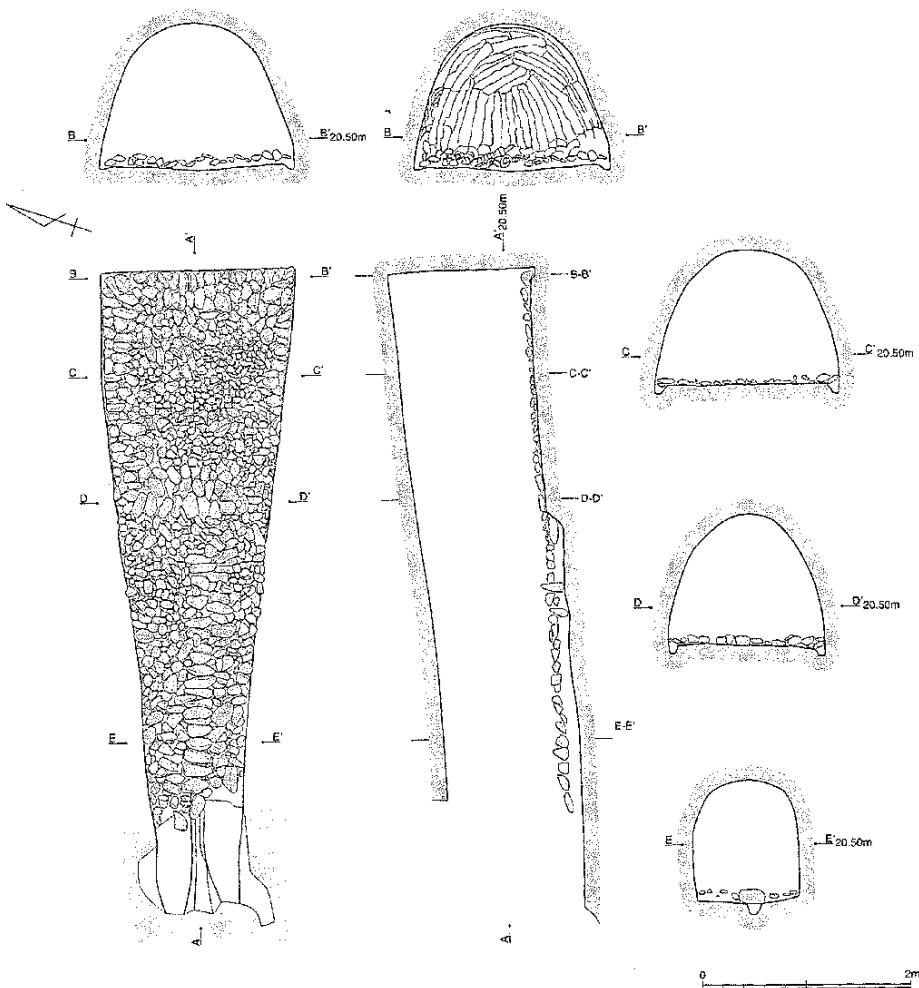
**墓室:矩形・逆台形・撥形等で多様なあり方**

**時期:6世紀末~7世紀中葉**

# 殷山横穴墓群



# 殿山横穴墓群



上右  
1号墓  
4号墓

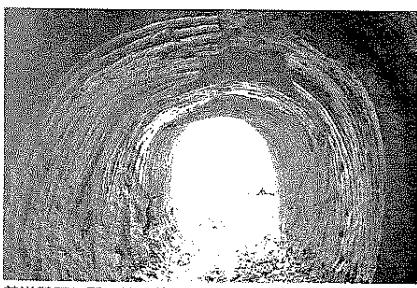
全長：6.1m  
全長：4.2m



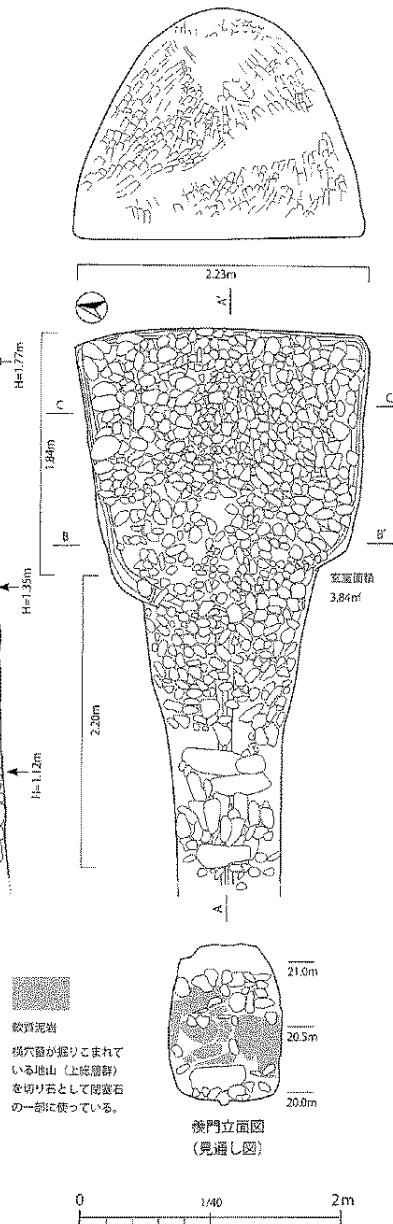
奥壁に残る工具痕



側壁に残る骨状の工具痕



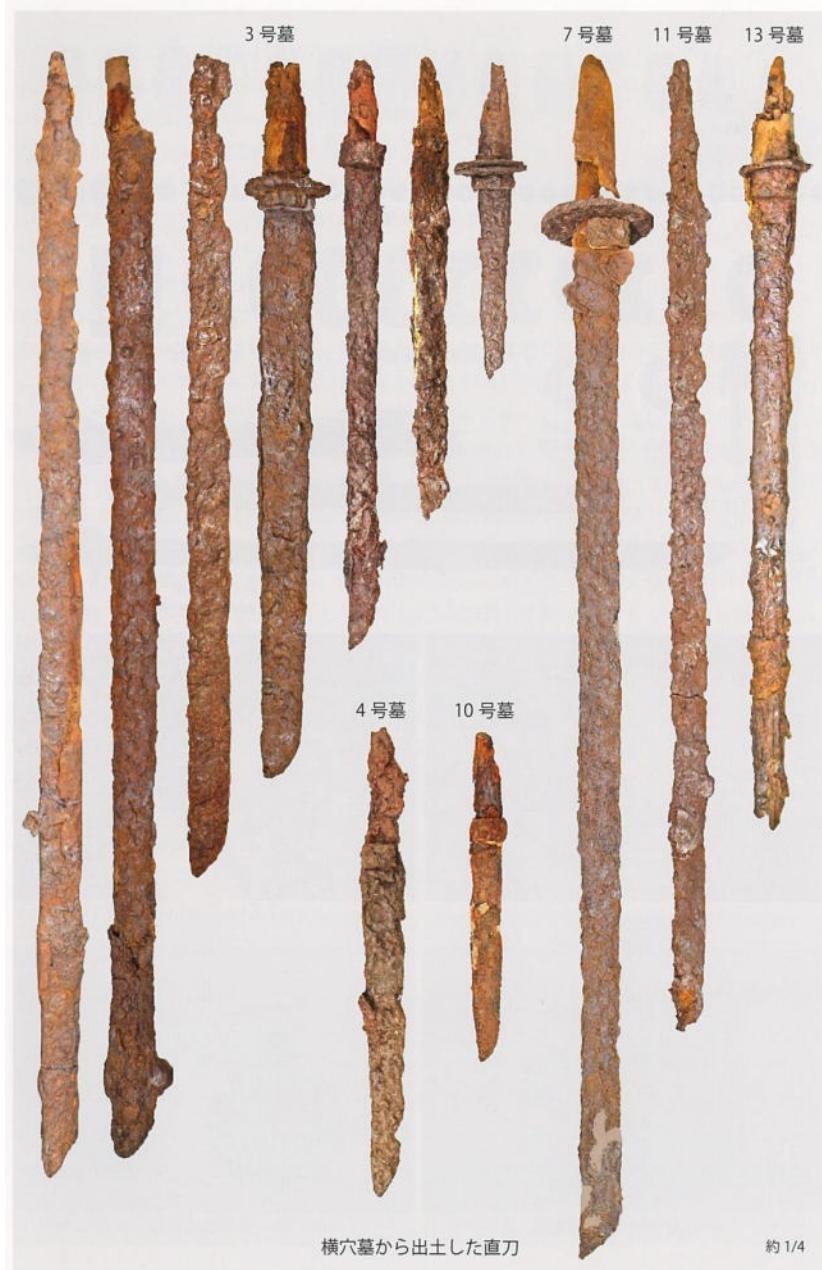
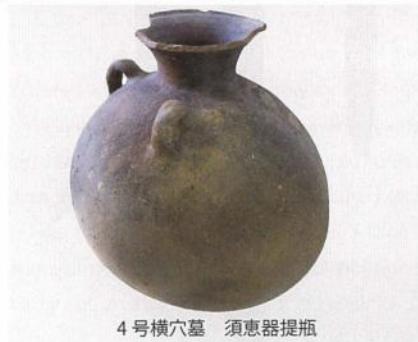
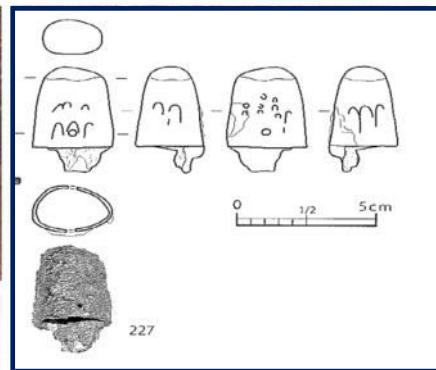
葬道壁面に残る骨状の工具痕



軟質泥岩  
横穴が掘りこまれて  
いる地山（土坑墓群）  
を切り石として障壁石  
の一部を使っている。

葬門立面図  
(見通し図)

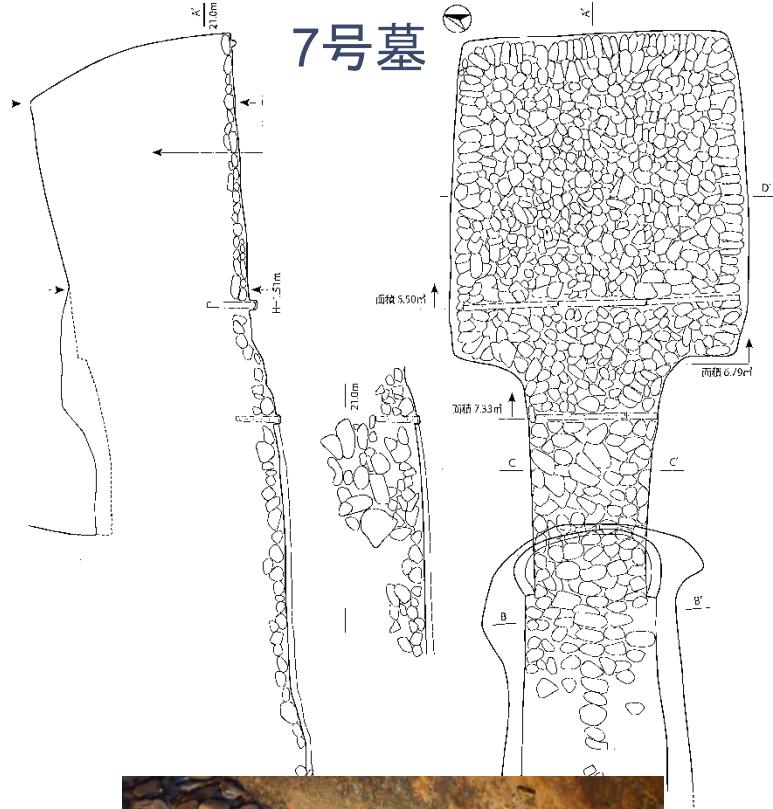
0 1/40 2m



## ● 特徴的な内部構造

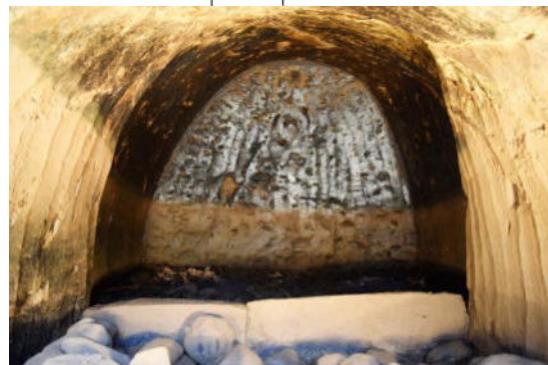
## 17号墓

## 7号墓



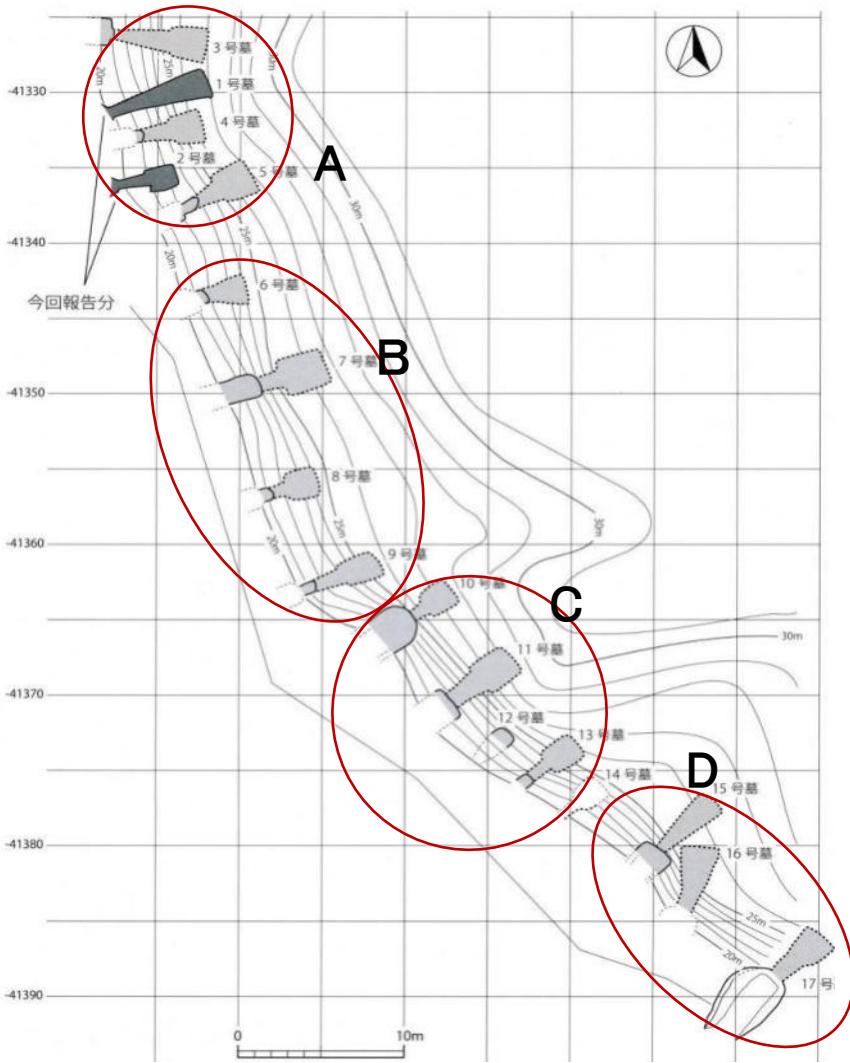
- ・墓室内部の区画施設: **石障**  
板状の石材を立てて玄室を区画する

The diagram illustrates the architectural plan and section of Tomb No. 17. The plan view (left) shows a trapezoidal structure with a stepped, rubble-filled interior. The section view (right) shows the elevation with various layers and dimensions: a top layer labeled 'A' with height  $H=20.5m$ , a middle layer labeled 'B' with height  $H=1.24m$ , and a base layer labeled 'C' with height  $H=1.00m$ . The section also shows internal chambers and a central vertical shaft. An inset photograph at the bottom shows the interior of the tomb, which is circular and made of rough stone blocks.

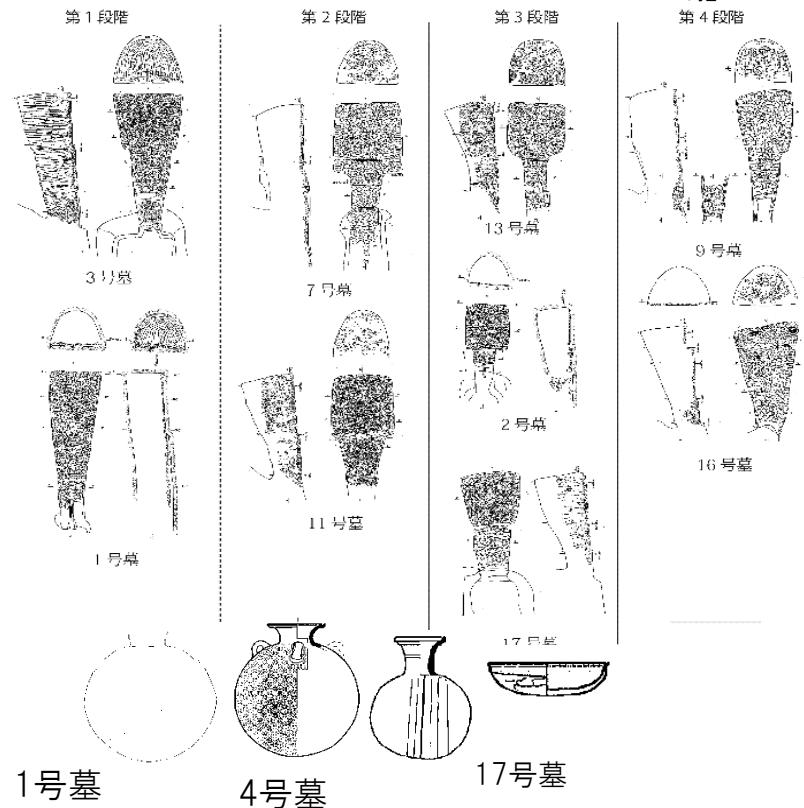


- ・墓室内部の区画施設: **界石**  
柱状の石材を横に並べ、羨道と玄室を区分する

# ● 殿山横穴墓群の構造変遷



墓室の特徴	墓室構造の指標			
	第1段階 600ft	第2段階 630ft	第3段階 630ft	第4段階 630ft
斜壁無押・漆形平面 有油矩形平面 主軸排水溝 界石・石陣区分 有段昆木 規模縮小 無段昆木	—	—	—	—
単位グループ	A 群 1号墓 3号墓	4号墓 5号墓 7号墓	2号墓 8号墓 11号墓 10号墓 13号墓 14号墓 17号墓	9号墓 6号墓 6号墓 6号墓 9号墓



殿山横穴墓群の変遷

# 西谷戸横穴墓群(岡本三丁目26番他)

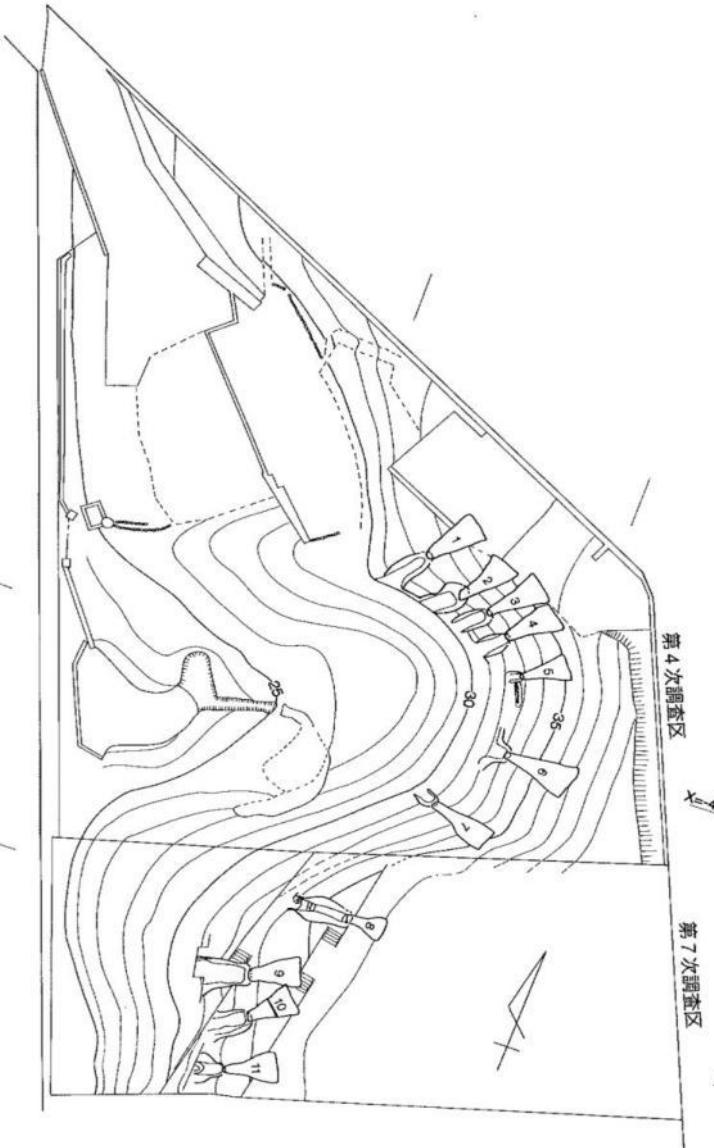
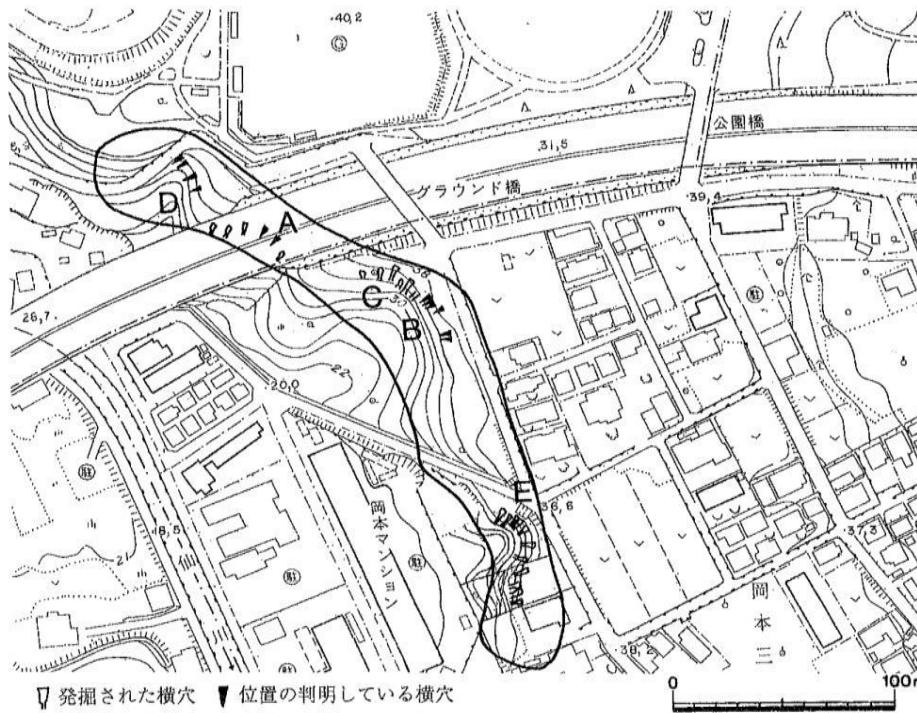
**立地:**仙川流域の標高30~34mの南西向き斜面

**規模:**約33基

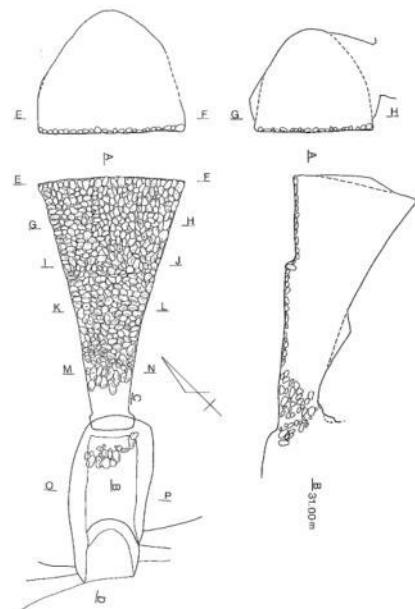
**構成:**全体で5支群

**墓室:**無袖撥形・徳利半裁形など

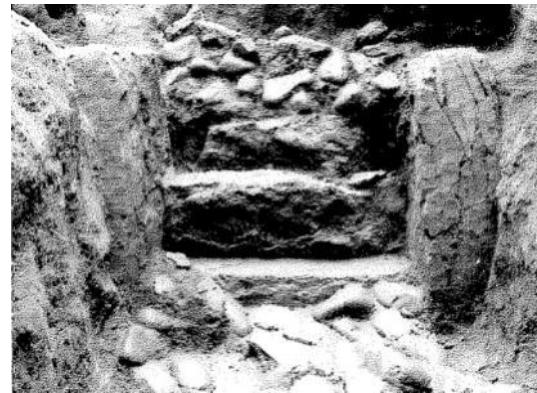
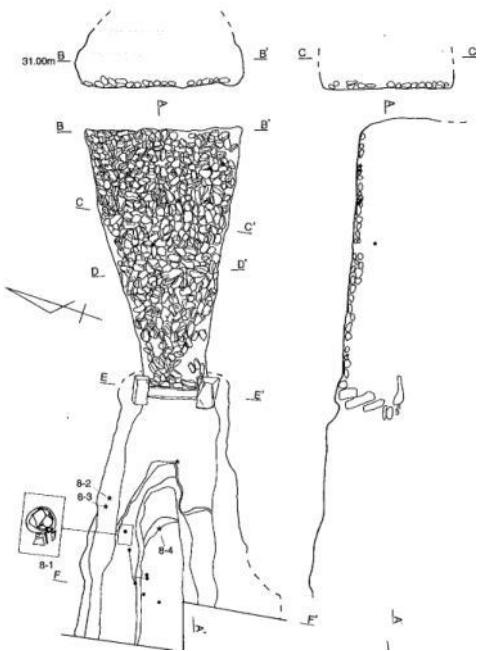
**時期:**7世紀中葉~後葉



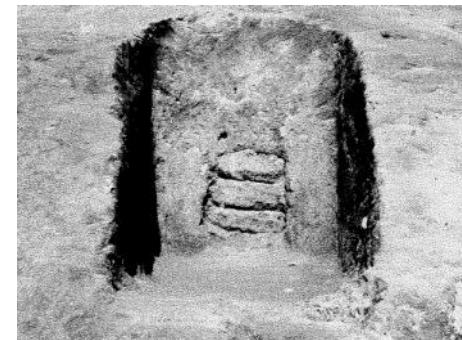
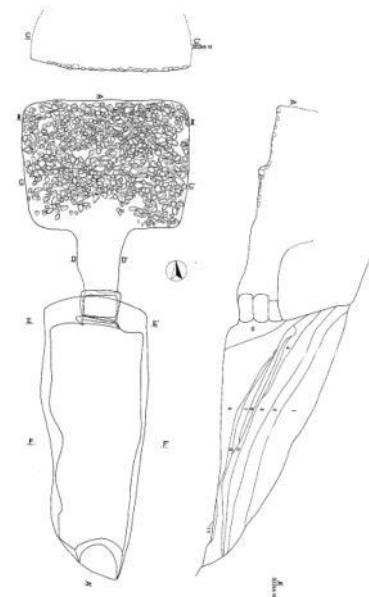
## ● 横穴墓の閉塞部の特徴



E群 3号墓



E群 9号墓



日大調査4号墓

# 不動橋横穴墓群（世田谷区成城三丁目）

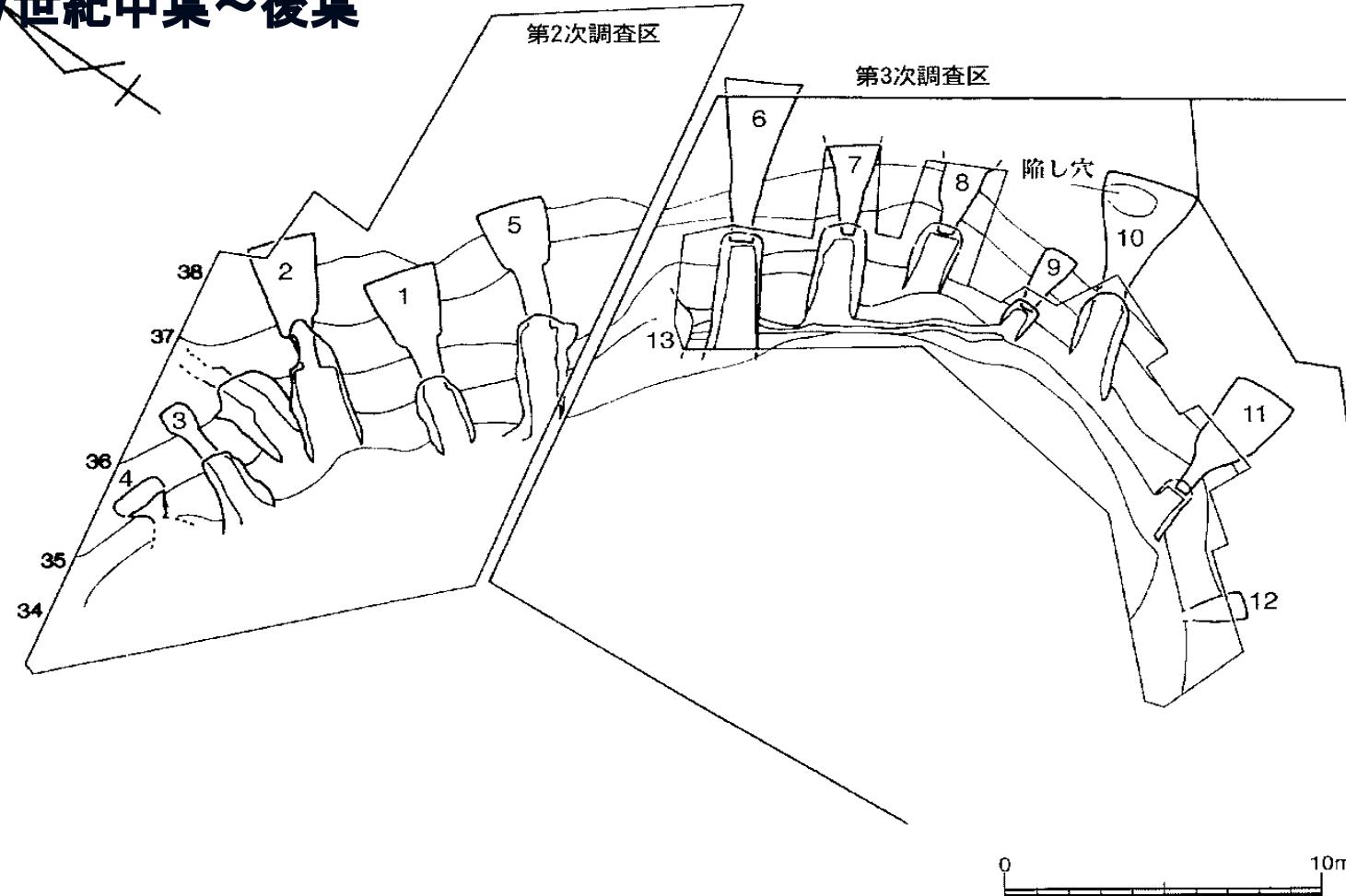
立地:野川流域の標高34~36mの国分寺崖線南西斜面

規模:15基

構成:2~3グループ

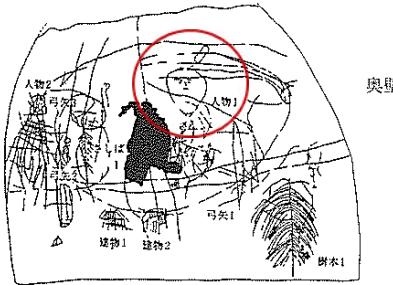
墓室:逆台形・無袖撥形・徳利半裁形など

時期:7世紀中葉~後葉

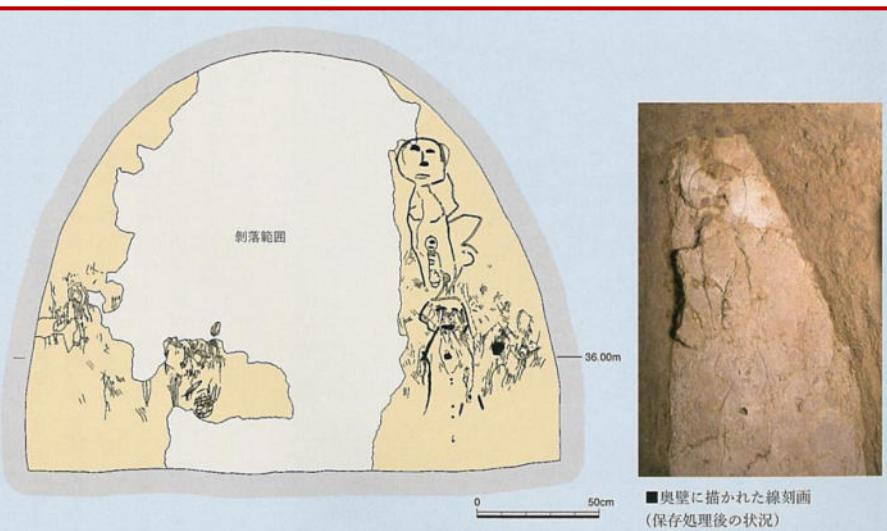


## ●横穴墓の線刻画集成 (柏木2013)

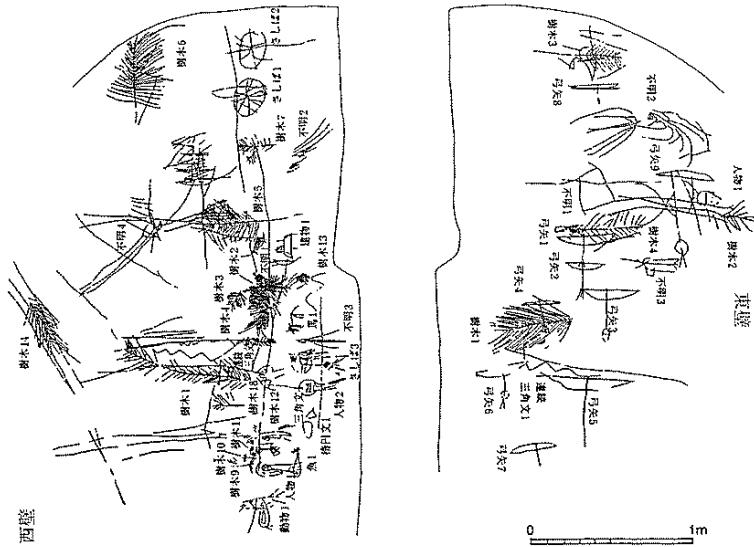
### 川崎市王禅寺白山1号墓の線刻画



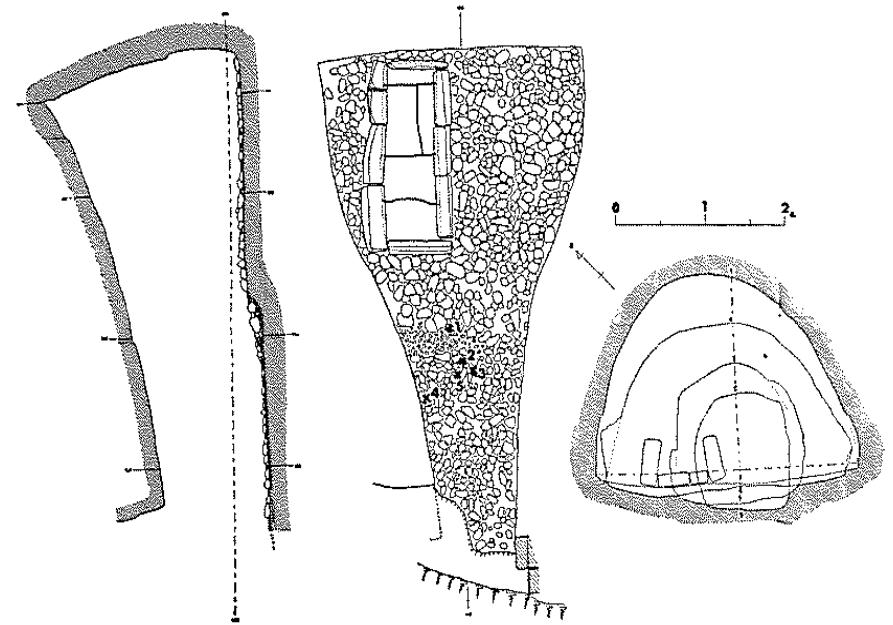
川崎市早野横穴墓の線刻画



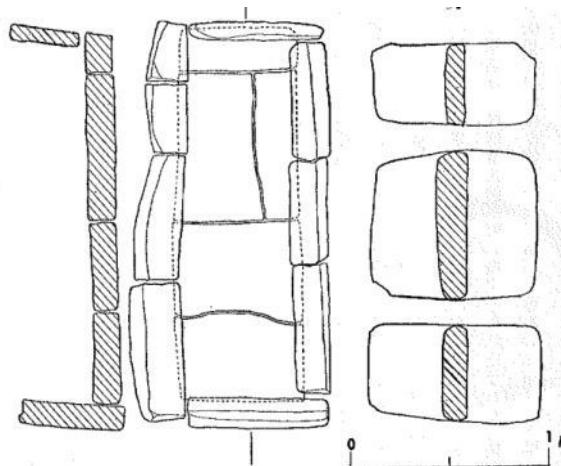
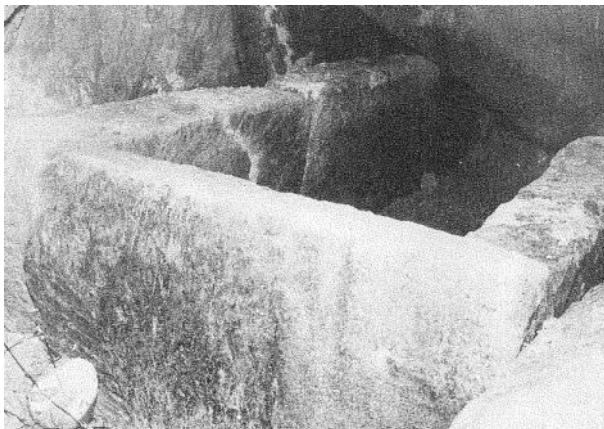
11号墓の線刻画



# 等々力渓谷横穴墓群(等々力一丁目22番)

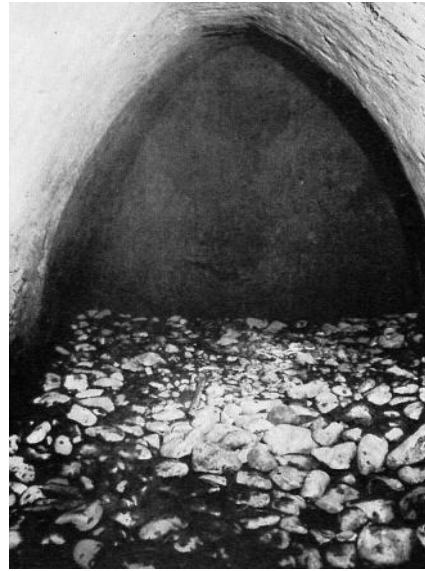
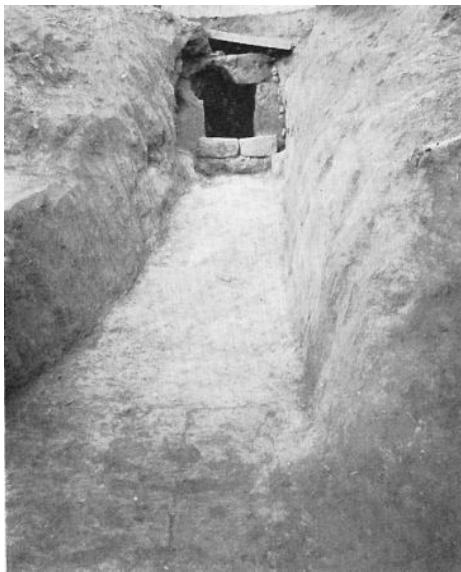


2号墓 全長:5.45m

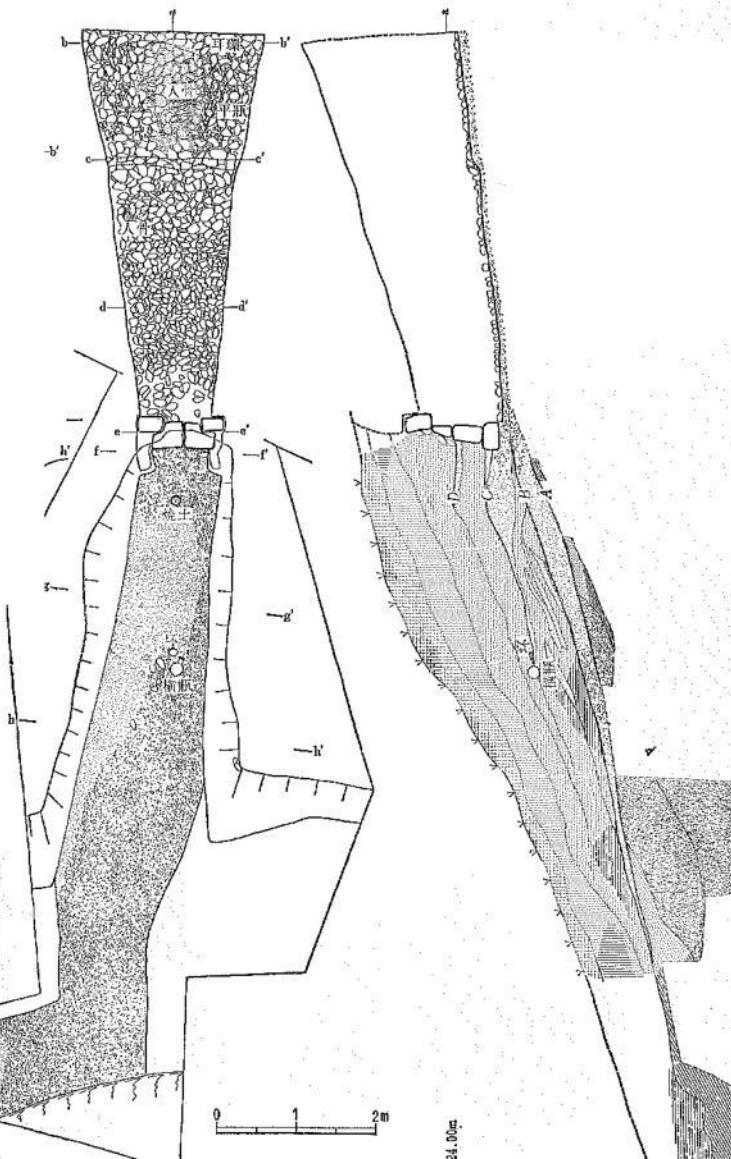


組合式石棺を内蔵  
石材は軟質泥岩(凝灰岩)  
多摩川左岸では大田区久ヶ原  
11号横穴墓と2例のみ。

# 等々力渓谷横穴墓群

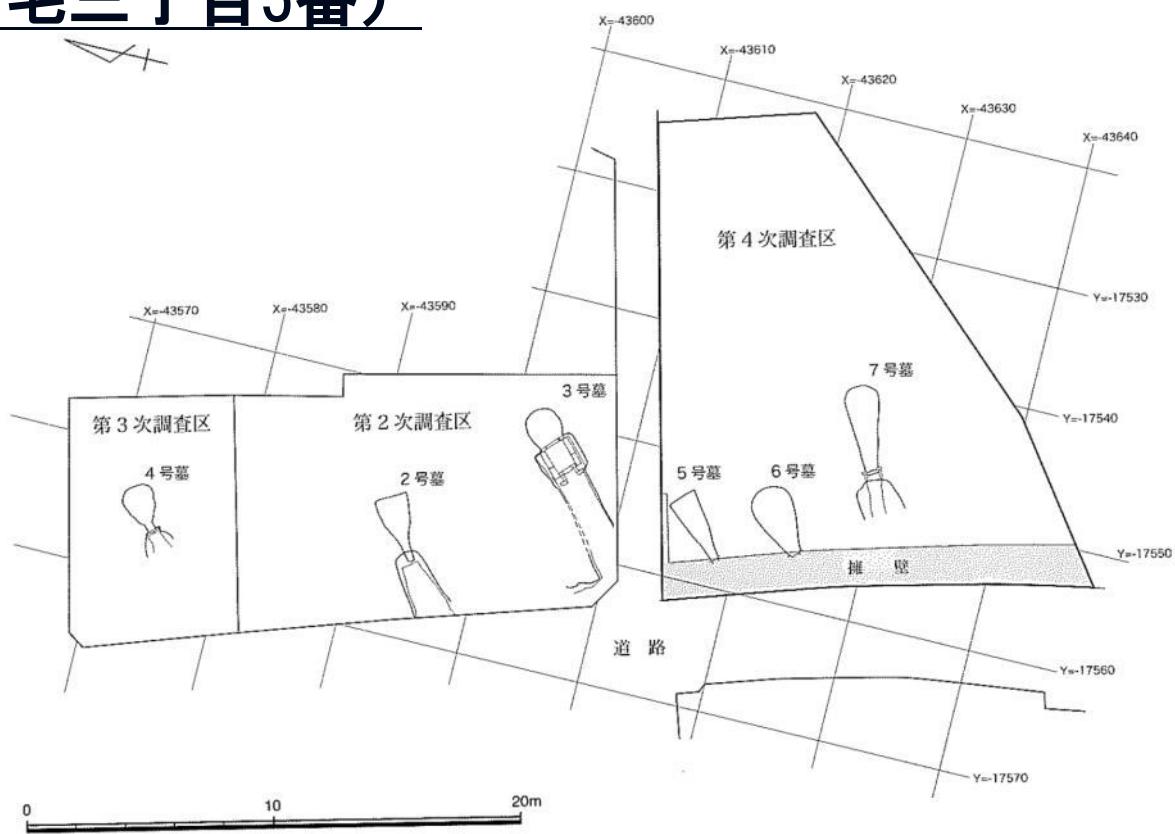
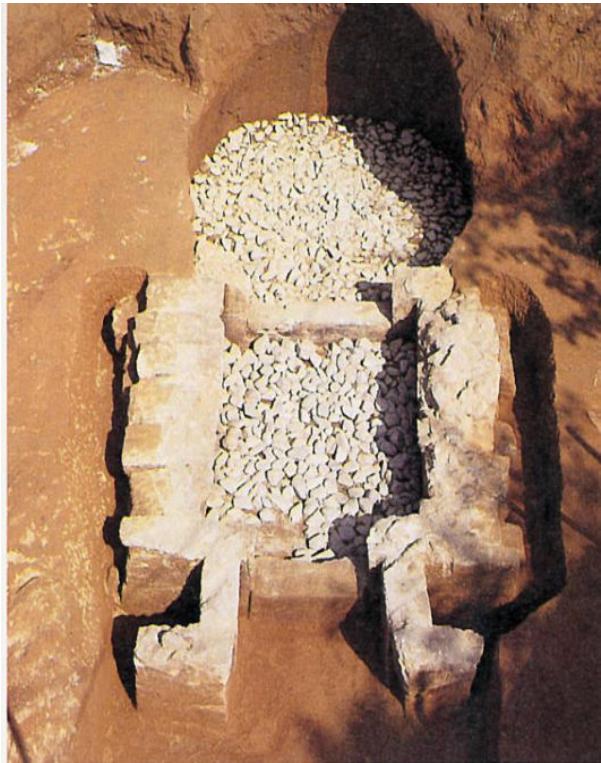


## 等々力溪谷横穴墓出土土器



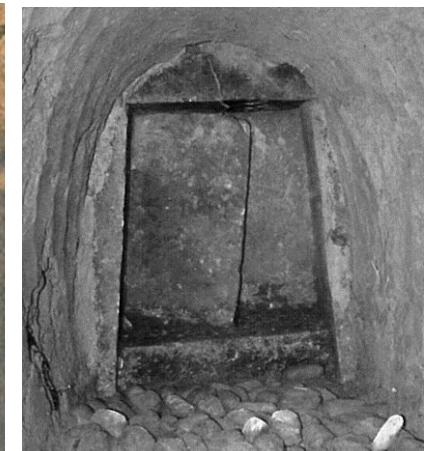
3号墓 全長:4.9m 墓道:7m以上

# 下野毛岸横穴墓群（野毛三丁目5番）



3号墓:複室構造 石室 + 横穴

7号墓:羨門切石構造 + 前庭部  
石積み



# ●南武藏の石室墳・横穴墓の分布

## 横穴墓一覧

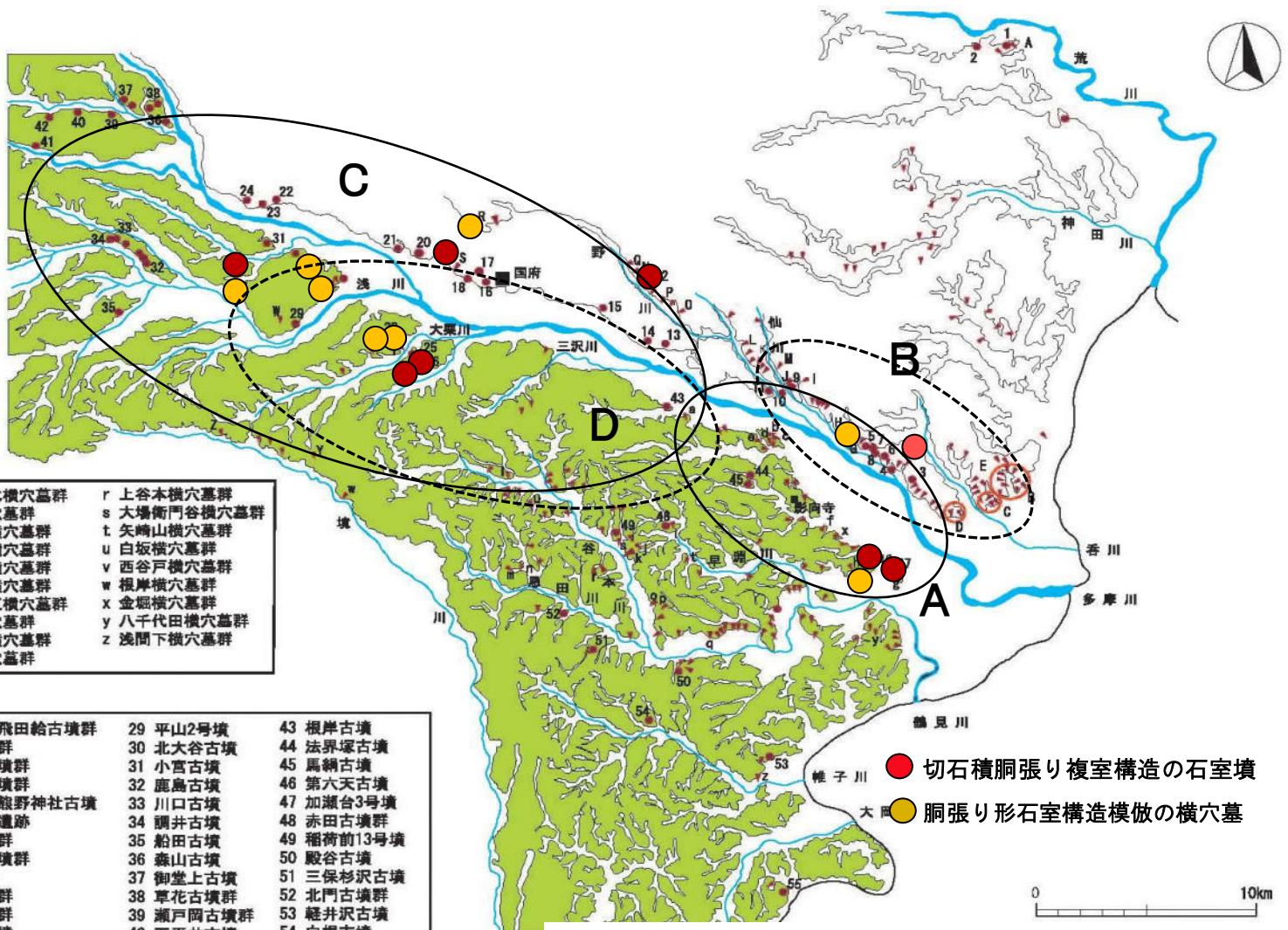
- A 赤羽台横穴墓群
- B 山王・新井宿横穴墓群
- C 本門寺・桐ヶ谷横穴墓群
- D 塚越横穴墓群
- E 久が原・根岸横穴墓群
- F 上沼部横穴墓群
- G 等々力横穴墓群
- H 下野毛岸横穴墓群
- I 岡本谷戸横穴墓群
- J 西谷戸横穴墓群
- K 中神明横穴墓群
- L 不動横穴墓群
- M 大蘿団地横穴墓群
- N 野水横穴墓群
- O 御宿坂横穴墓群
- P 羽沢台横穴墓群
- Q 出山横穴墓群
- R 内藤新田横穴墓
- S 谷保東方横穴墓群
- T 中和田横穴墓群
- U 梵天山横穴墓群
- V 坂西横穴墓群
- W 平山台横穴墓群
- X 大和田横穴墓群
- Y 多摩NTN.192遺跡
- Z 多摩NTN.313遺跡

- a 長者寺横穴墓群
- b 淨元寺裏横穴墓群
- c 久地西前田横穴墓群
- d 平瀬川隋道横穴墓群
- e 下作延横穴墓群
- f 蟹ヶ谷横穴墓群
- g 夢見ヶ崎横穴墓

- |            |             |
|------------|-------------|
| h 萩防下北横穴墓群 | r 上谷本横穴墓群   |
| i 赤田横穴墓群   | s 大場街門谷横穴墓群 |
| j 大黒谷横穴墓群  | t 矢堤山横穴墓群   |
| k 市ヶ尾横穴墓群  | u 白坂横穴墓群    |
| l 能ヶ谷横穴墓群  | v 西谷戸横穴墓群   |
| m 熊ヶ谷東横穴墓群 | w 根岸横穴墓群    |
| n 熊ヶ谷東横穴墓群 | x 金糸横穴墓群    |
| o 下根横穴墓群   | y 八千代田横穴墓群  |
| p 天ヶ谷横穴墓群  | z 浅間下横穴墓群   |

## 古墳(石室)一覧

- |             |               |           |            |
|-------------|---------------|-----------|------------|
| 1 赤羽台古墳群    | 15 白糸台・飛田給古墳群 | 29 平山2号墳  | 43 根岸古墳    |
| 2 志村古墳群     | 16 高倉古墳群      | 30 北大谷古墳  | 44 法界塚古墳   |
| 3 下沼部古墳     | 17 御巣塚古墳群     | 31 小宮古墳   | 45 馬綱古墳    |
| 4 多摩川台古墳群   | 18 下谷保古墳群     | 32 鹿島古墳   | 46 第六天古墳   |
| 5 西岡22号墳    | 19 武藏府中熊野神社古墳 | 33 川口古墳   | 47 加瀬台3号墳  |
| 6 鍋音塚古墳     | 20 四軒在家遺跡     | 34 調井古墳   | 48 赤田古墳群   |
| 7 西岡28号墳    | 21 青柳古墳群      | 35 船田古墳   | 49 稲荷前13号墳 |
| 8 津間様古墳     | 22 経塚下古墳群     | 36 森山古墳   | 50 殿谷古墳    |
| 9 大藏古墳群     | 23 大神古墳       | 37 御堂上古墳  | 51 三保杉沢古墳  |
| 10 殿山古墳群    | 24 淨土古墳群      | 38 草花古墳群  | 52 北門古墳群   |
| 11 喜多見稻荷塚古墳 | 25 塚原古墳群      | 39 瀬戸岡古墳群 | 53 軽井沢古墳   |
| 12 天文台横内古墳  | 26 稲荷塚古墳      | 40 下平井古墳  | 54 白根古墳    |
| 13 下布田古墳群   | 27 白井塚古墳      | 41 山田古墳   | 55 室ノ木古墳   |
| 14 上布田古墳群   | 28 万藏院台古墳群    | 42 造塙古墳群  |            |



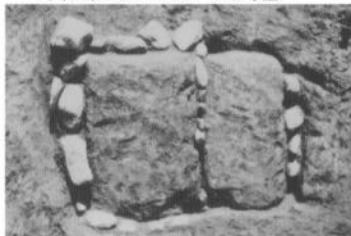
(松崎2010 a を元に作成) (1/300,000)

古墳

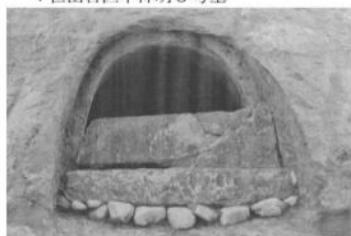
## ● 横穴墓の閉塞施設



①切石組みによる羨門・切石閉塞  
:久ヶ原グリーンハイツ6号墓



③加工ローム塊（縦積み）・河原石閉塞  
:世田谷区中神明3号墓



⑤切石（横積み）・河原石による閉塞  
:世田谷区殿山11号墓



⑦河原石組みによる羨門・河原石閉塞  
:三鷹市出山8号墓



②切石組みによる羨門・切石閉塞  
:山王・新井宿42号墓



④切石（縦積み）・河原石による閉塞  
:世田谷区下野毛岸7号墓



⑥ローム塊による閉塞  
:大田区山王・新井宿26号墓



⑧河原石による閉塞  
:多摩ニュータウンNo.192遺跡3号墓

・ 横穴墓の閉塞には切石や河原石を使用する。多摩川下流域では泥岩を加工した切石組みの羨門をもつ。ローム塊を切石状に加工した閉塞材もある。

➡ **桂原郡の特徴**

・ 中流域では切石と河原石を併用する閉塞がみられる。

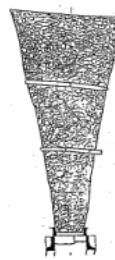
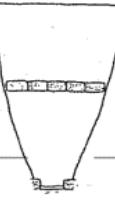
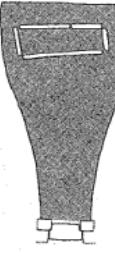
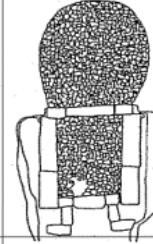
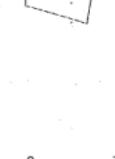
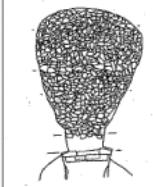
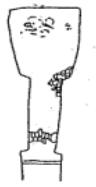
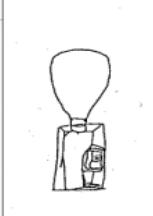
➡ **多磨郡と桂原郡の境界**

・ 多摩川上流域では河原石積みの閉塞が多い。石室墳も河原石積み。

・ 多摩丘陵や境川流域ではおもに河原石を使用する。

➡ **多磨郡の特徴**

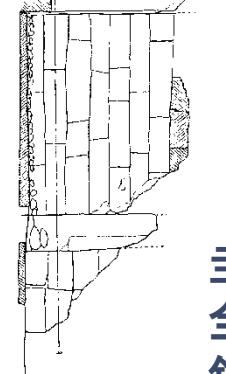
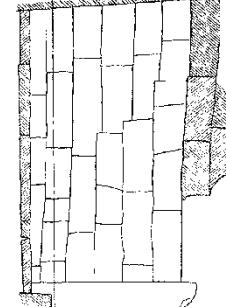
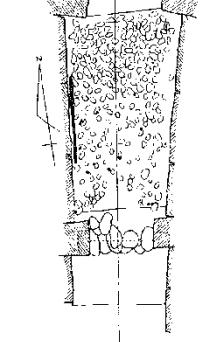
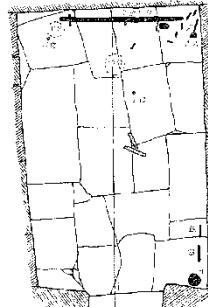
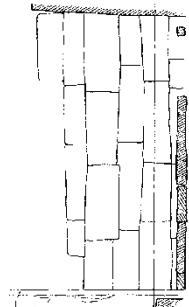
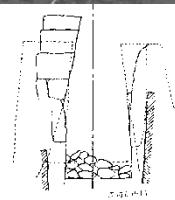
# ● 在原郡域の横穴墓の変遷

形態 時期	A型墓室（有袖形）	B型墓室（無袖形）	C型墓室（胴張り形）	出土土器の区分
I 期	     	     		
II 期	    	    		D型墓室 (不整形) E型墓室 (改葬墓)
III 期	  	  		D型 E型

0 2m

### III 横穴墓をのこした人々

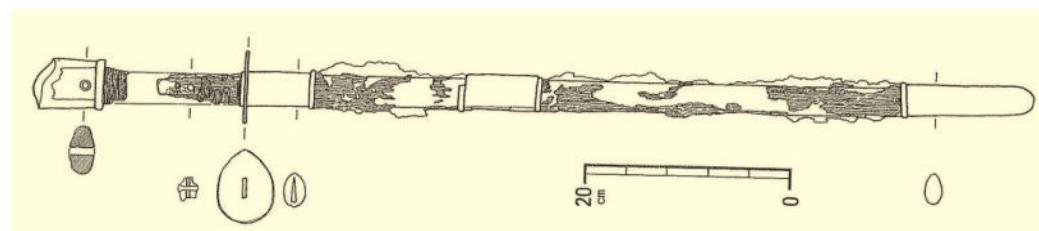
# ● 世田谷区 喜多見稻荷塚古墳と副葬品



## 圭頭大刀

全長：約80cm 金具はすべて金銅製、  
鍔は倒卵形で板鍔。柄頭は圭頭

切石積み横穴式石室(全長:6.0m)  
玄室床面にも切石が敷かれている。  
羨道部は礫敷き。



# ● 世田谷区 殿山古墳群と副葬品

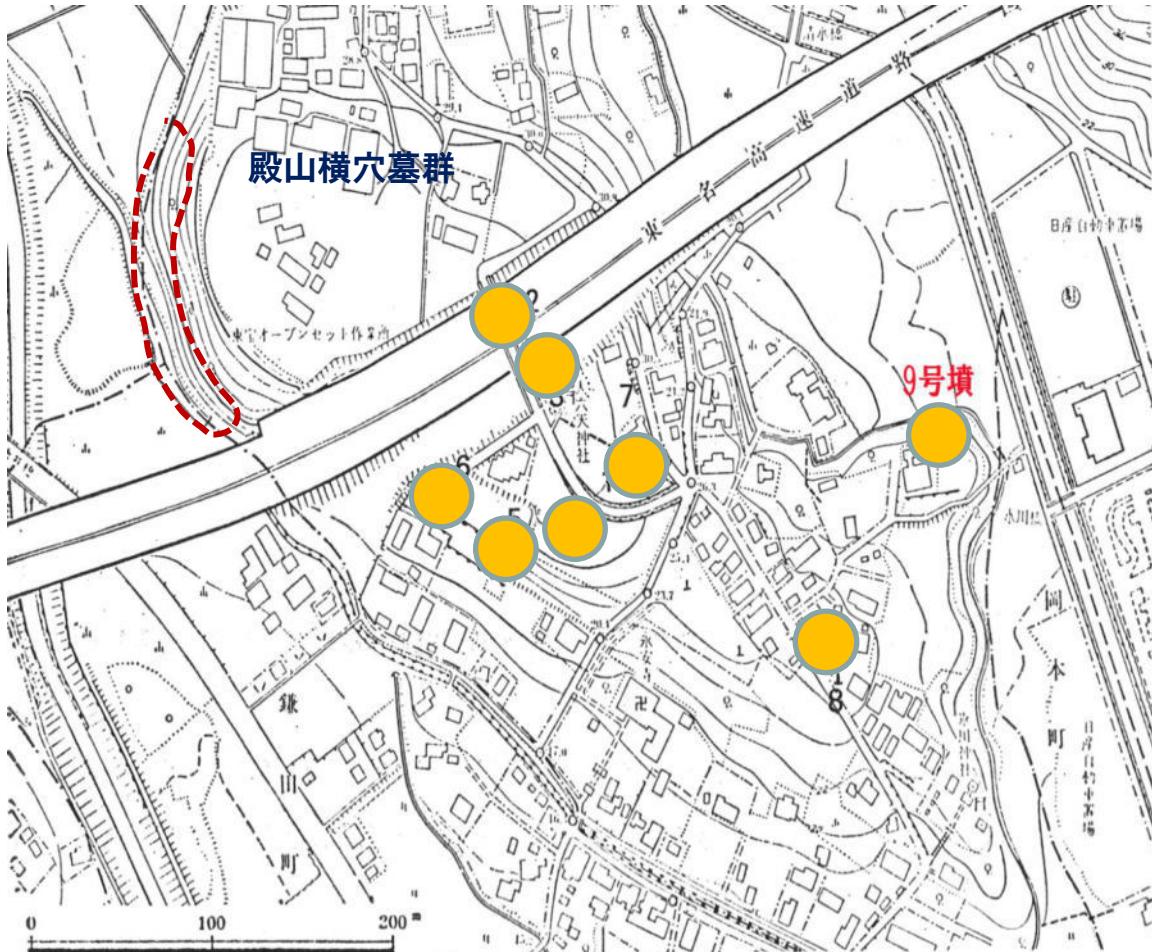


Fig 1 殿山遺跡全体図 ■:住居址, 1:1号墳, 2:2号墳, 3:3号墳, 4:4号墳, 5:5号墳, 6:6号墳, 7:7号墳, 8:大将塚,

殿山古墳群の分布



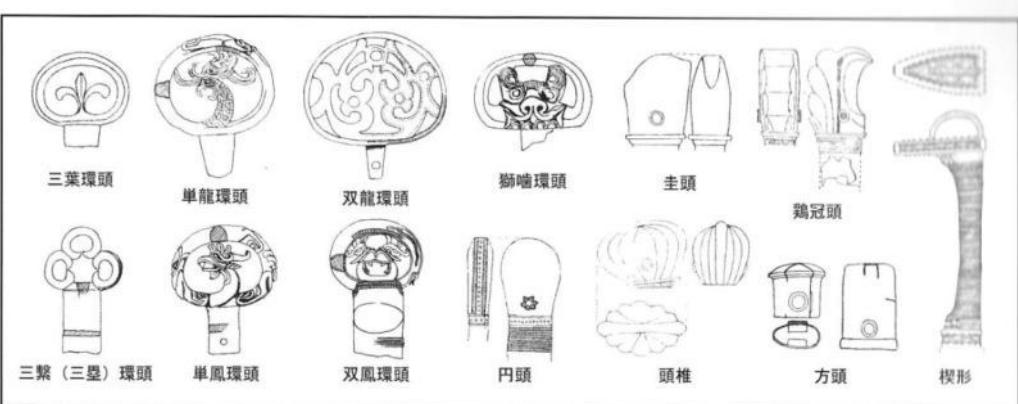
1号墳の石室



9号墳出土圭頭大刀

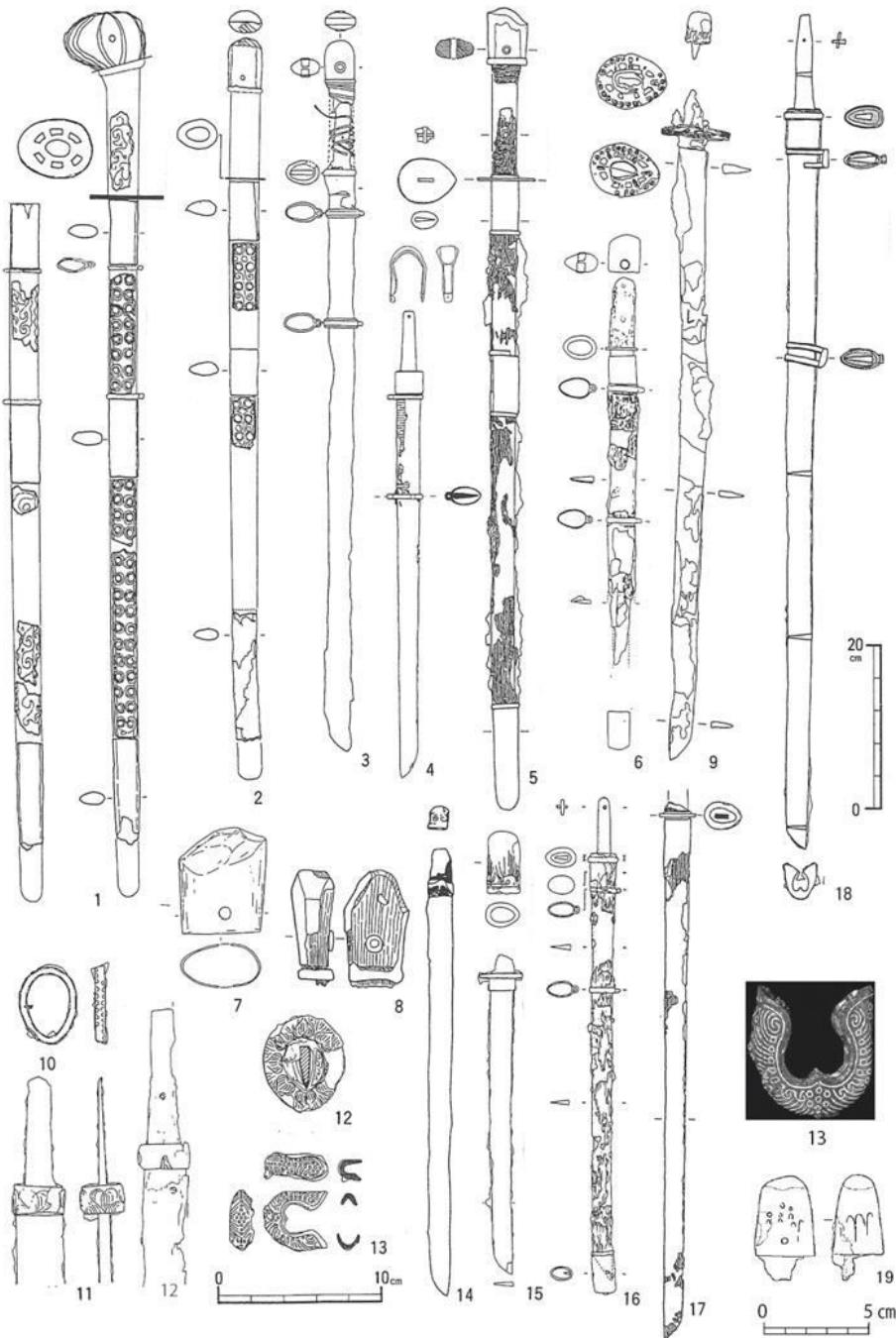
# ① 副葬品からのアプローチ

## ■ 装飾付大刀の種類・分布



- ・ 北武藏、相模では環頭大刀が分布
- ・ 南武藏では環頭大刀は見られない
- ・ 北武藏では終末期の前方後円墳（小見真觀寺古墳）に匹敵する副葬品が、南武藏の横穴墓（塚越14号墓）に副葬される。
- ・ 威信財は各流域の特定の範囲に分布する傾向がある。

## ●南武藏出土の畿内系器物



- ・終末期の石室墳・横穴墓から出土する。
- ・北武藏、相模とは異なり、装飾付大刀の環頭大刀は見つかっていない。
- ・横穴墓に象嵌装大刀が伴う事例が多い。
- ・横穴墓から銅鏡の優品も出土。  
⇒ 横穴墓の造墓集団と畿内系豪族との関係性が想定されるのでは？

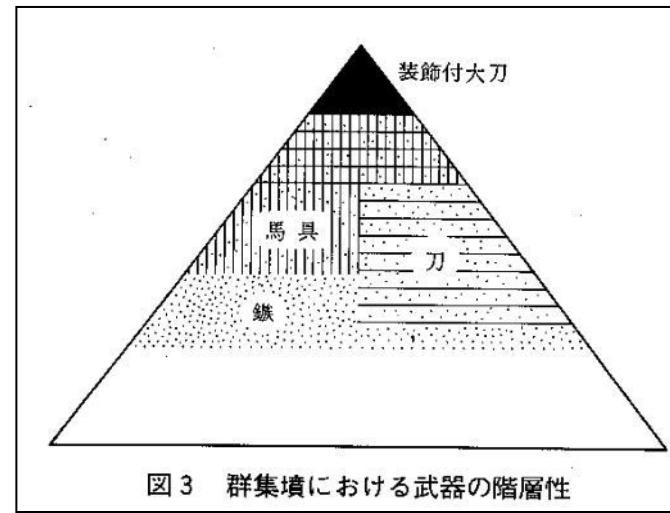
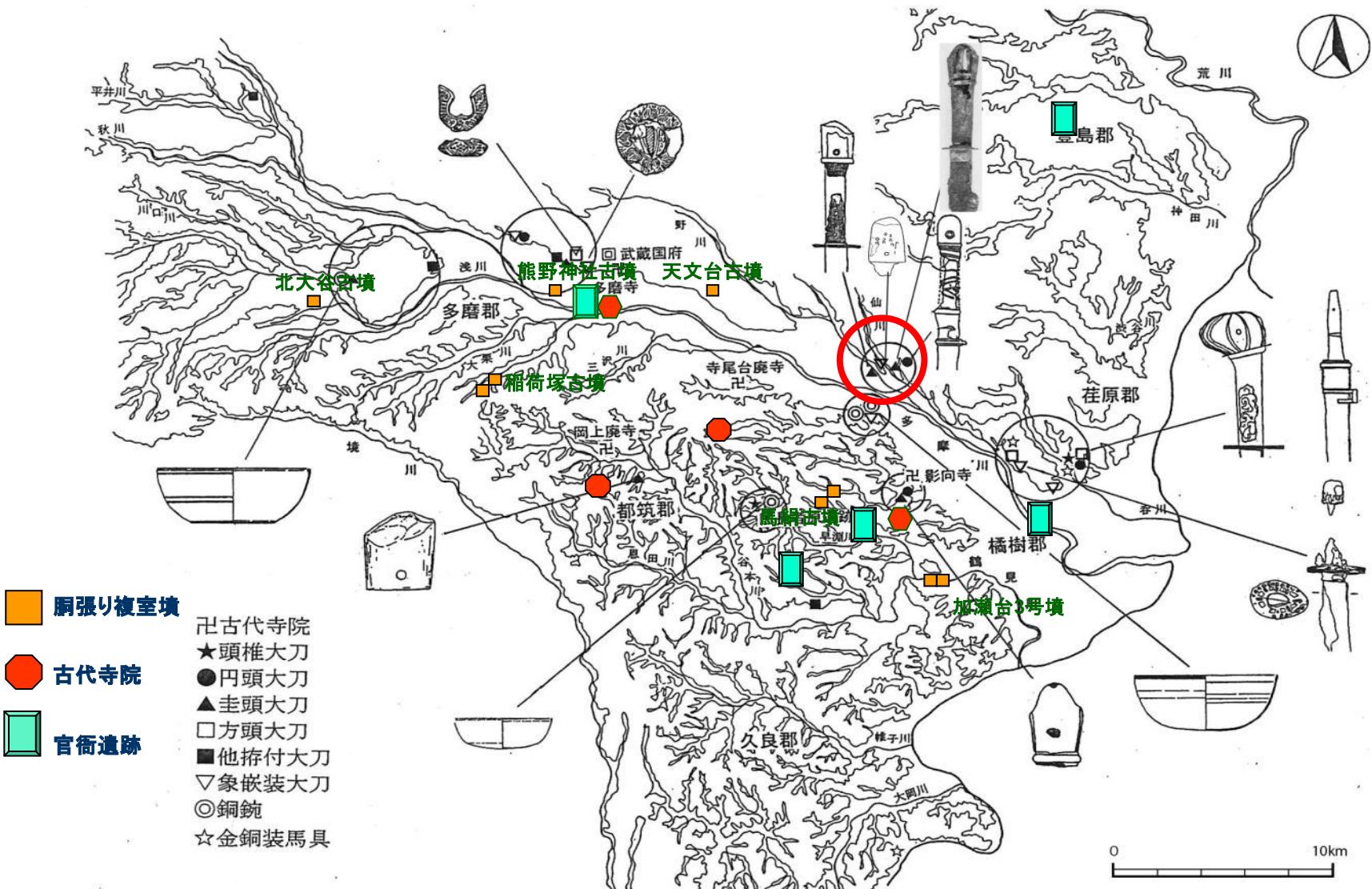


図3 群集墳における武器の階層性

## ● 南武藏地域の威信財分布



## ■ 古墳・横穴墓の畿内系器物

多摩川流域の古墳や横穴墓からは、威信財とされる装飾付大刀や象嵌装大刀、銅鏡などの畿内系器物が出土している。

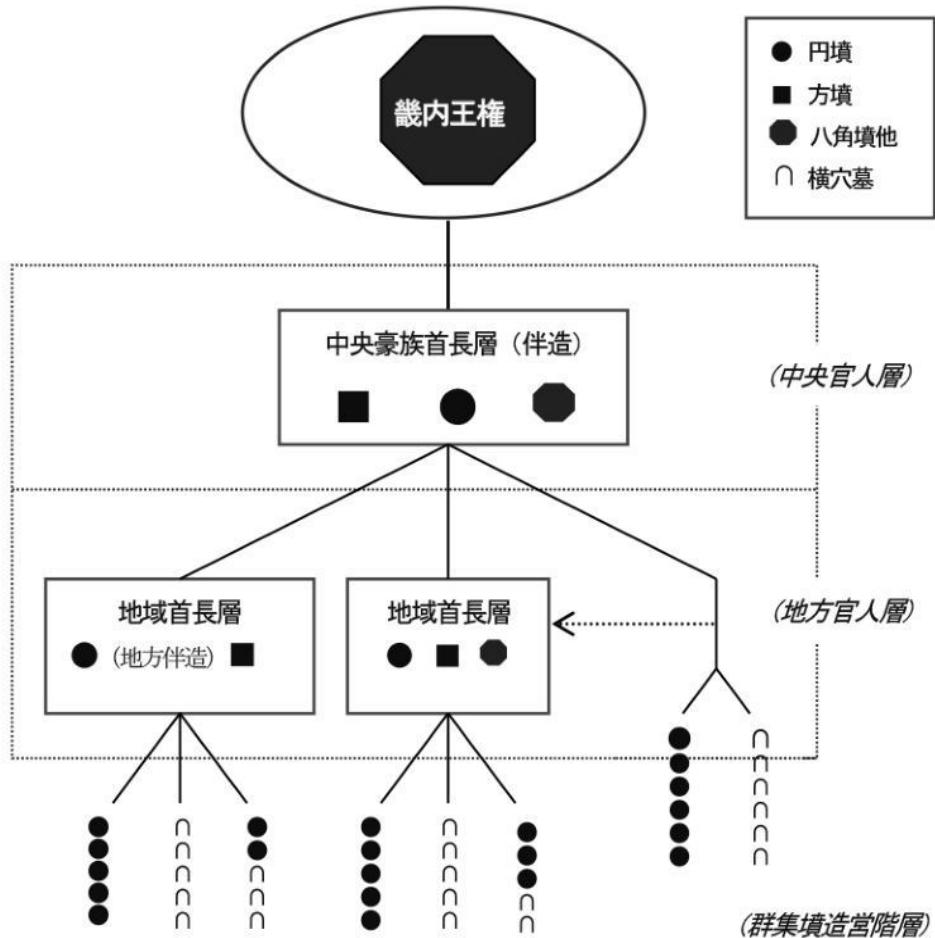
各地の中小豪族が中央や地方豪族との関係性の中で、受容したものであり、おもに新たに地域開発を担った新興集団に与えられた可能性もある。

7世紀以降、畿内系器物は「南武藏」の地域統合に向けての一定の役割を有したと考えられる。

※飛鳥時代の銭貨のモチーフが府中熊野神社古墳の大刀装具にも反映されている。畿内の工房で製作されたものか。



七曜文



南武藏の地域編成モデル案

## ② 埋葬人骨からのアプローチ

### 世田谷区内の横穴墓埋葬人骨

横穴墓名称	埋葬人骨数	年齢層の区分 / 性別				
		乳幼児～小児	少年～成年	壮年	熟年～老年	不明
成城学園 I号墓	2～3体					● ● ●
成城学園 III号墓	2体					● ● ●
等々力渓谷3号墓	3体	●	●/♂ 受傷骨	●/♀		
岡本谷戸1号墓	2体			● ●/♂・♀		
玉川野毛町横穴墓	3体	●	● / ♀		● / ♂	
不動橋1号墓	3体			●/♂	● ●	
不動橋3号墓	3体		●/♀	●/♂		●
不動橋6号墓	3体			●/♂ ●/♂	●/♀	
中神明1号墓	1体				●/♂	
中神明2号墓	3体		●/♂	●/♂ ●/♀		
中神明3号墓	2体	● ●				
中神明7号墓	2体				●/♂	●
下野毛岸2号墓	2体		●/♀		●/♂	
下野毛岸3号墓	1体？					●
下野毛岸4号墓	2体以上				●/♂	

男性=13体

女性=7体

※壮年以上の埋葬比率は約3:1の割合で男性が多い傾向。同世代での男女の埋葬例が少ない。単体埋葬例があまり見られない。

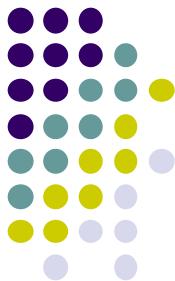
## 殿山横穴墓群埋葬人骨の属性

横穴墓名称	埋葬人骨数	年齢層の区分 / 性別				
		乳幼児～小児	少年～成年	壮年	熟年～老年	不明
殿山3号墓	4 体	●		● ● ● / ♂		
殿山4号墓	1 体			● ?		
殿山7号墓	3 体	● ●		● / ♂		
殿山8号墓	1 体					
殿山10号墓	1 体					
殿山11号墓	5 体	● ●	● ●	● / ♂		
殿山13号墓	2 体			● ●		
殿山16号墓	6 体	● ● ●	● ● ●			
殿山17号墓	6 体	● ●	● / ♂ ● / ♀ ● ?	●		

39体

## 殿山横穴墓群の埋葬人骨

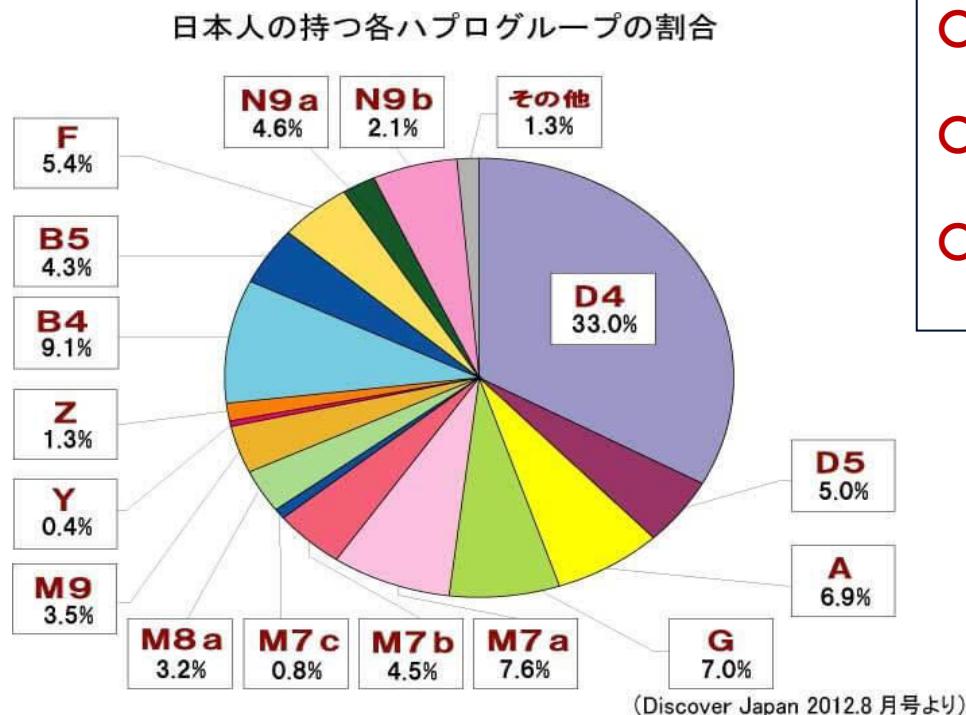
- ・9基で約40体が埋葬されたが、遺存状態が悪く実態はそれ以上である。
- ・3号墓、7号墓などの古い段階では、壮年期と幼児・小児の組合せ。
- ・全体に、女性人骨が少ない傾向。大田区内の横穴墓でも共通する。
- ・16号墓・17号墓など新しい段階の横穴墓には多体埋葬が見られる。



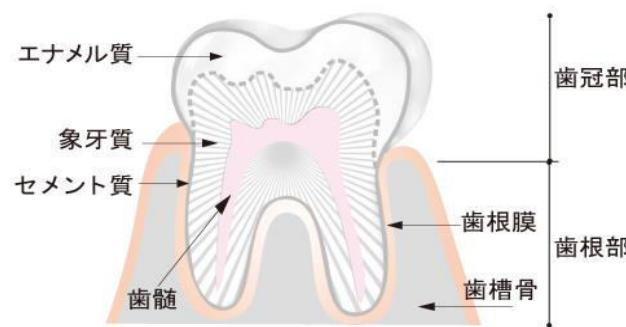
## ● 埋葬人骨のミトコンドリアDNA分析

- ・人骨や歯牙からDNAを採取して、遺伝子型からヒトの属性を探る方法。
- ・都内でも数カ所の横穴墓人骨に関する分析が実施されている。
- ・ミトコンドリアは母方からの遺伝子を示し、ハプログループから人骨間の血縁関係(母系)の有無を調べることができる。

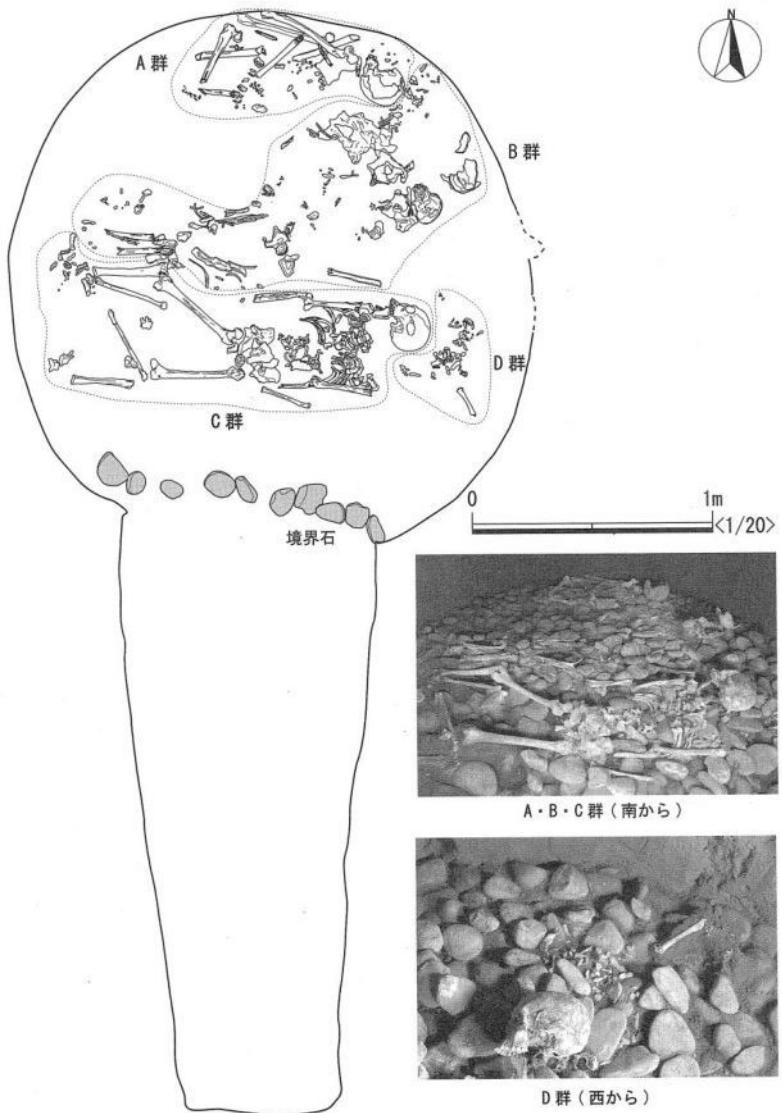
☞ ミトコンドリア型が一致すれば、**同じ母系**に属することがわかる。



- D4は西日本の弥生系遺伝子
- M7は伝統的な縄文系遺伝子
- 形質人類学では歯冠計測による血縁分析もある。



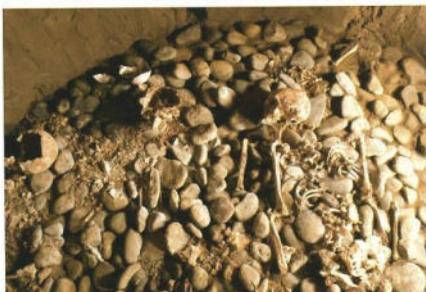
# ■羽根沢台9号墓の人骨出土状況



人骨出土状態（南＜羨道＞から）

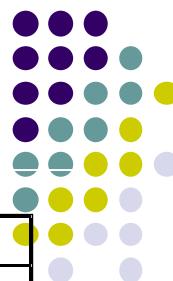


人骨出土状態（入口から）



9号墓では、最後に埋葬されたC人骨以外は集骨またはかたづけられた状態で検出。

# 三鷹市羽根沢台横穴墓群の埋葬人骨



	乳幼児	小児・少年	青年	壮年～熟年	合計
1号墓		3		6	9
2号墓	1	1	2	2	6
3号墓	2	1	1	4	8
4号墓	1		2	3	6
5号墓	6			1	7
6号墓	1			3	4
9号墓	1			5	6
10号墓			1	3	4
11号墓			1	1	2
12号墓				4	4
	12	5	7	32	56

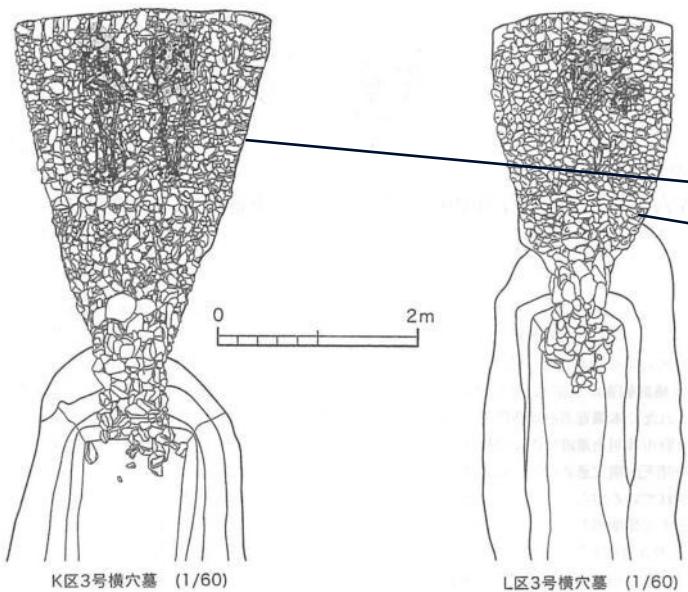
9号墓→4体からDNA検出 ハプログループM7a 2体 D4b 1体

12号墓→3体からDNA検出 ハプログループD4 2体 D4a1体

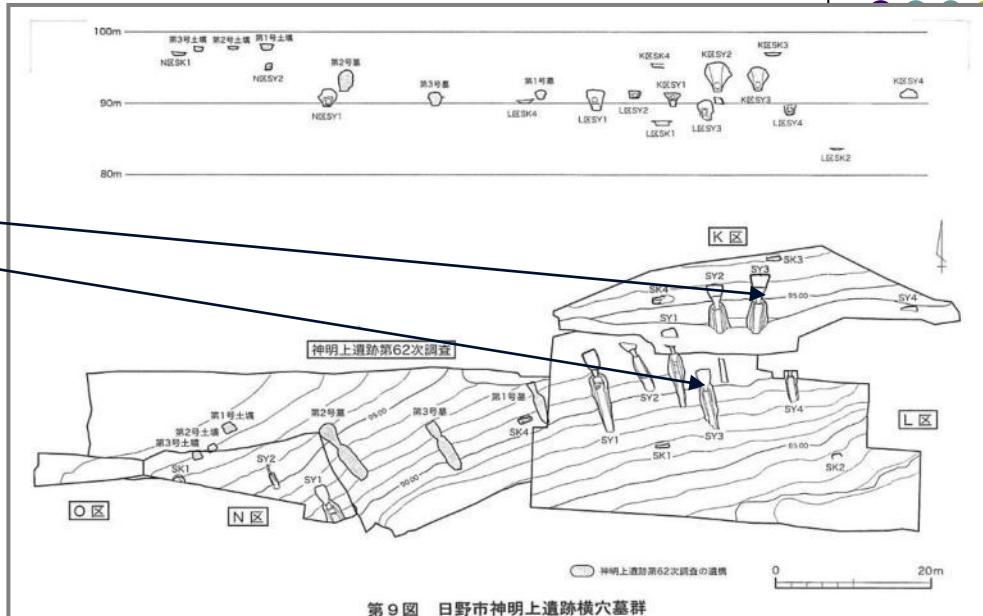
D4は渡来系弥生人に多い型。 M7aは縄文人に多い型。

※現代日本人のDNA D4÷32.6% M7a÷7.47%

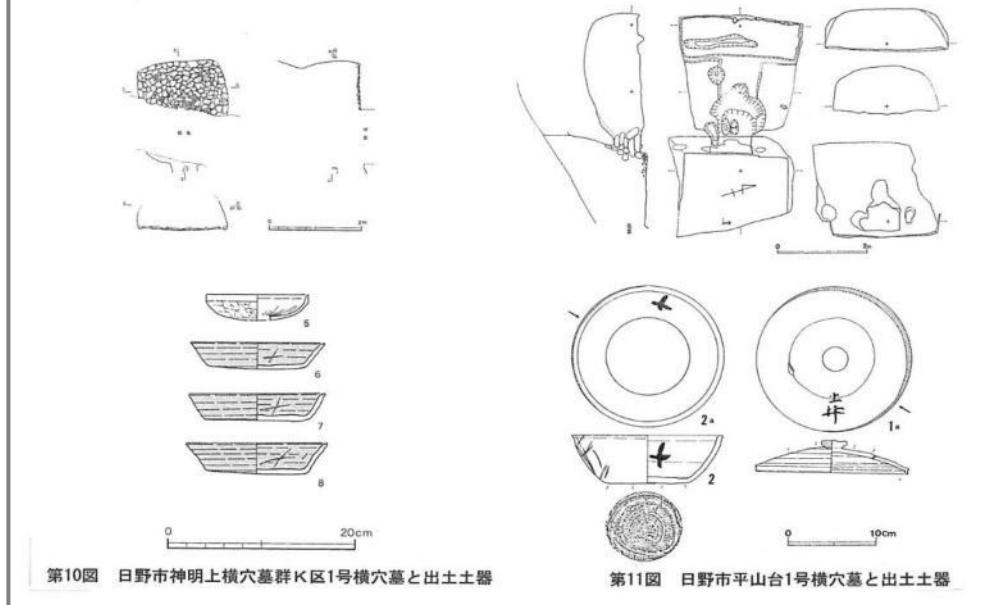
## ■日野市神明上横穴墓群の埋葬と終焉期の横穴墓



「区3号墓に葬られた人は……



第9図 日野市神明上遺跡横穴墓群



第10図 日野市神明上横穴墓群K区1号横穴墓と出土土器

第11図 目野市平山台1号横穴墓と出土土器

# 日野市神明上遺跡横穴墓群の埋葬人骨



	乳幼児	小児・少年	青年	壮年～熟年	合計
K区1号墓				4	4
K区2号墓	1		1	4	6
K区3号墓				2	2
L区1号墓	2			2	4
L区2号墓				1	1
L区3号墓				1	1
N区1号墓	1			1	2
	4	0	1	15	20

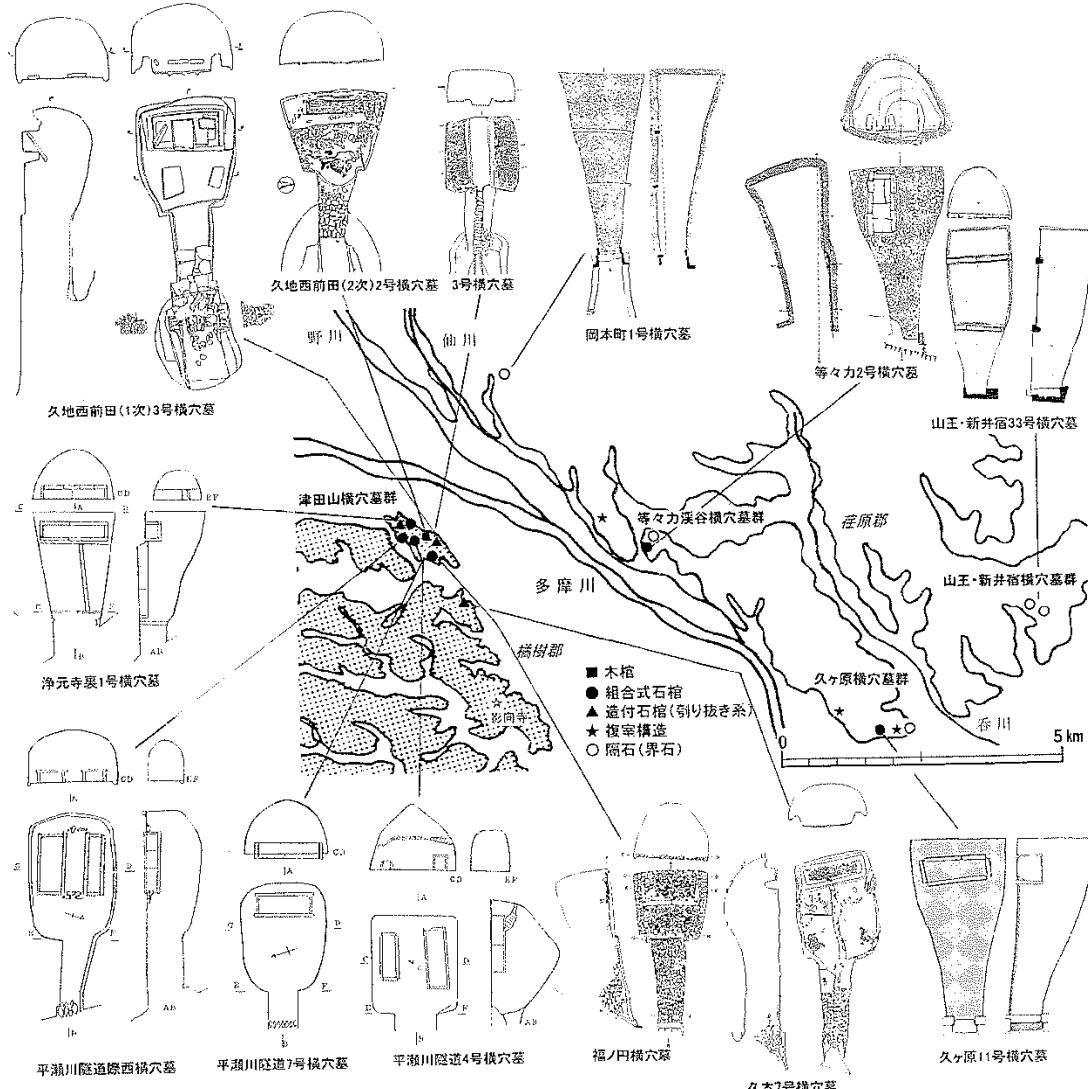
K区3号墓→1・2号人骨から異なるDNA検出 ハプログループA

L区3号墓→単体からDNA検出 ハプログループC

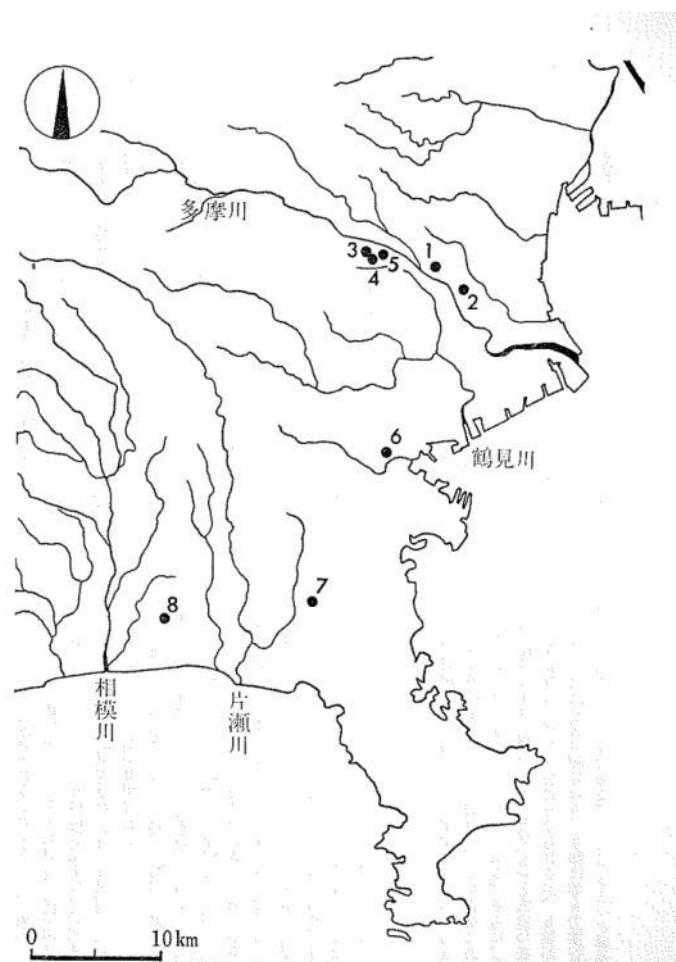
※現代日本人のDNA A÷6.85% C÷0.3～0.46%

k-3号墓の♂ ♀は塩基配列が異なることから、夫婦の可能性あり

## ③ 地域史から見た横穴墓の性格



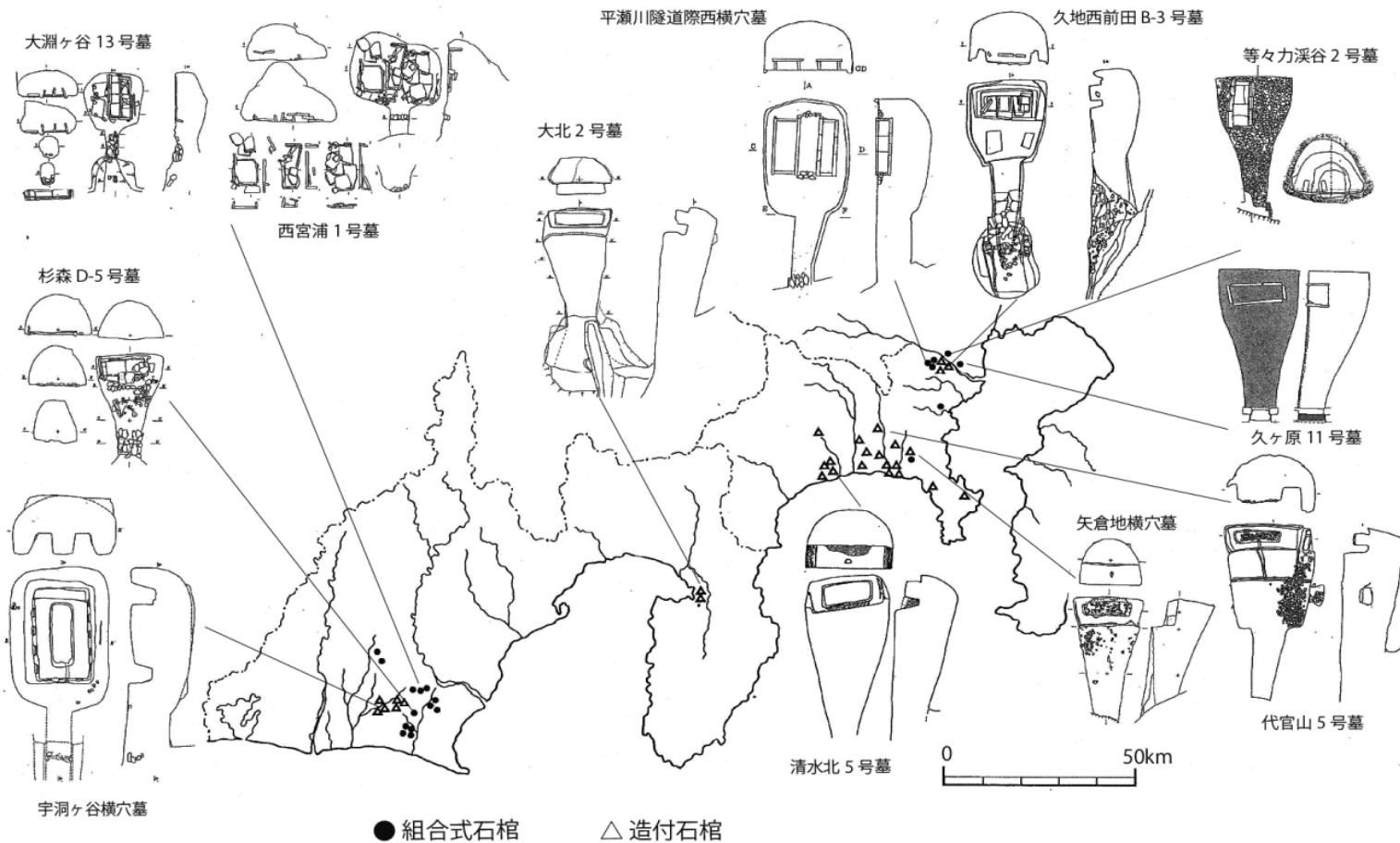
## 多摩川流域の出現期横穴墓



第5図 南関東の組合せ式箱式石棺をもつ横穴の分布  
 (1. 等々力渓谷2号 2. 久ヶ原11号 3. 津田山久地三群1号 4. 平瀬川陰道  
 隣4・7号, 津田山閉地内1号 5. 法泉坊 6. 宮ヶ谷 7. 七石山 8. 甘沼)

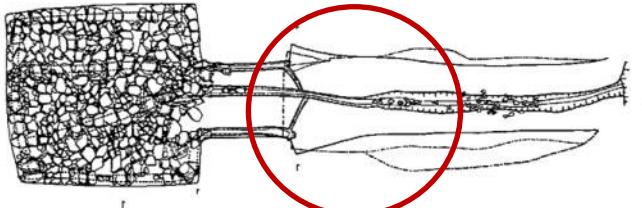
# ● 横穴墓制の伝播経路

図 77 石棺内蔵横穴墓の分布 (筆者作成)

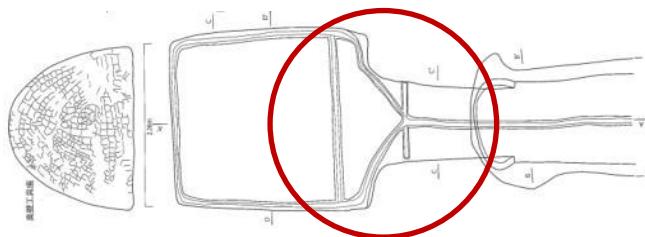
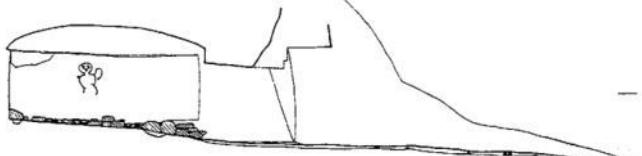


- ・横穴墓の故地と推測される遠江の菊川・太田川流域には、馬具を副葬する横穴墓が多く分布しており、伝播の背景に馬匹等の職能集団が関与した可能性がある。

# ● 河内の横穴墓と殿山横穴墓群の比較

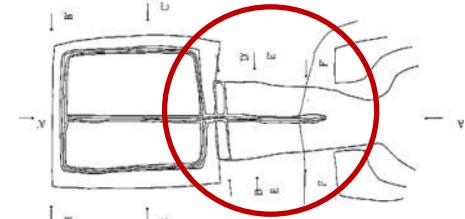
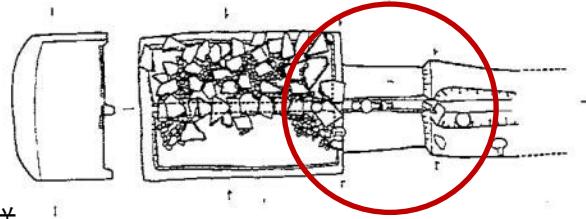


柏原市玉手山東横穴墓群

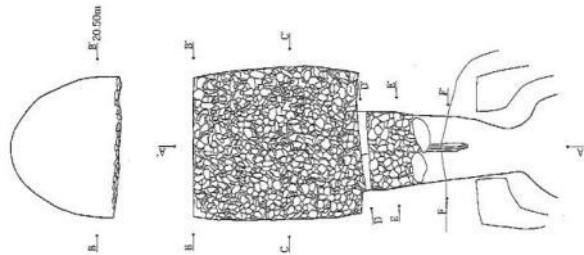
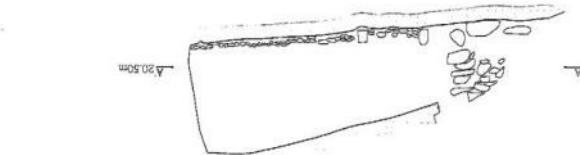
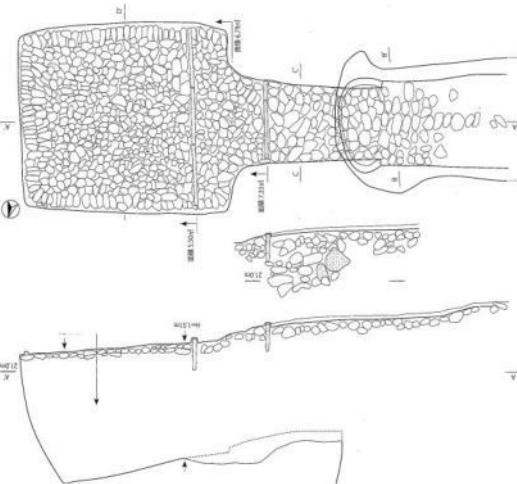


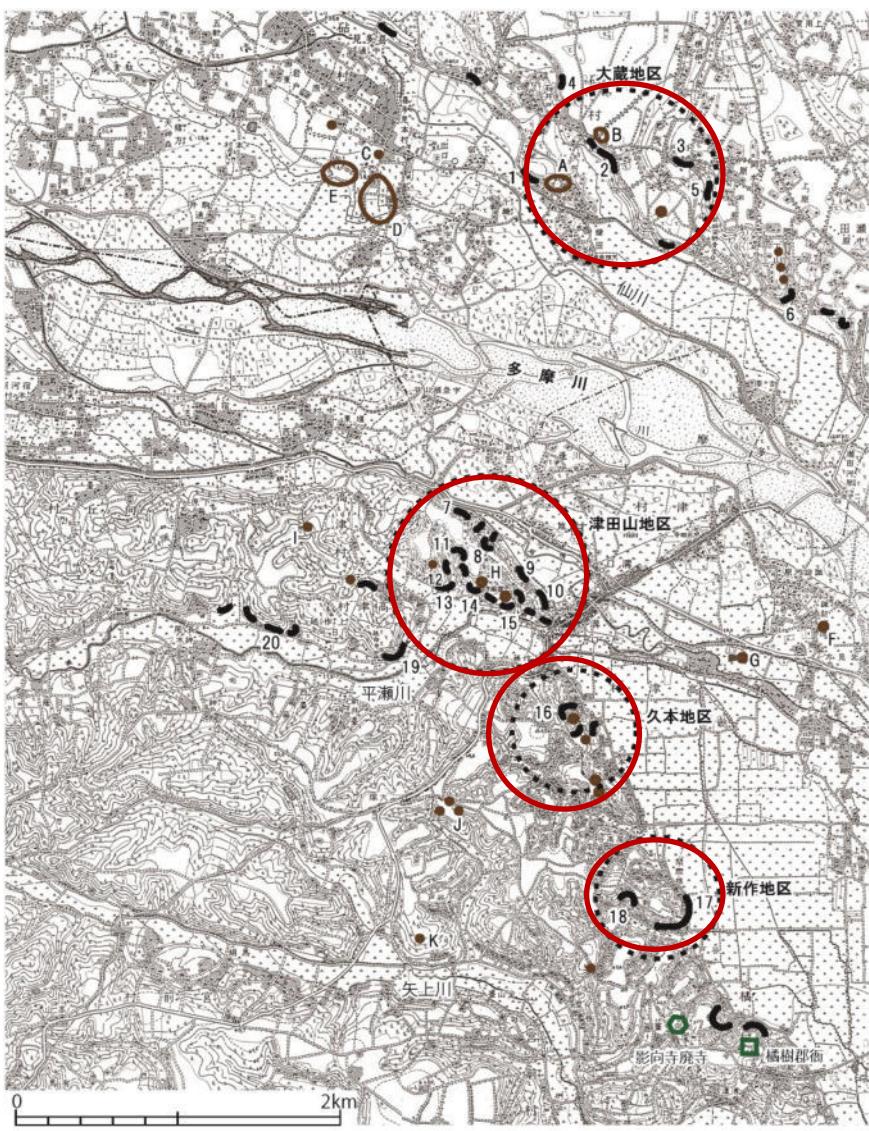
## 【共通する構造】

- ① 墓室の平面形態
- ② 墓室・羨道の排水溝
- ③ 羨道と墓道の区分



世田谷区殿山横穴墓群





1.殿山横穴墓群 2.西谷戸横穴墓群 3.岡本谷戸横穴墓群 4.大藏団地横穴墓群 5.岡本原横穴墓群 6.玉川病院下横穴墓群 7.久地神社裏横穴墓群  
8.淨元寺裏横穴墓群 9.久地西前田横穴墓群 10.渕口西耕地横穴墓群 11.平瀬川隧道際横穴墓群 12.平瀬川隧道西横穴墓群 13.中之橋横穴墓群  
14.日向横穴墓群 15.下作延横穴墓群 16.久本横穴墓群 17.間際根横穴墓群 18.新作横穴墓群 19.上作延横穴墓群 20.銀ヶ丘蓄園南横穴墓群  
A.殿山古墳群 B.大藏古墳群 C.吾多見稻荷古墳群 D.陣屋古墳群 E.康元寺古墳群 F.謙訪天神塚古墳 G.二子塚古墳 H.日向古墳 I.下作延稻荷塚古墳  
J.法界寺古墳 K.馬綱古墳

図1 多摩川中流域における後・終末期の横穴墓・古墳分布

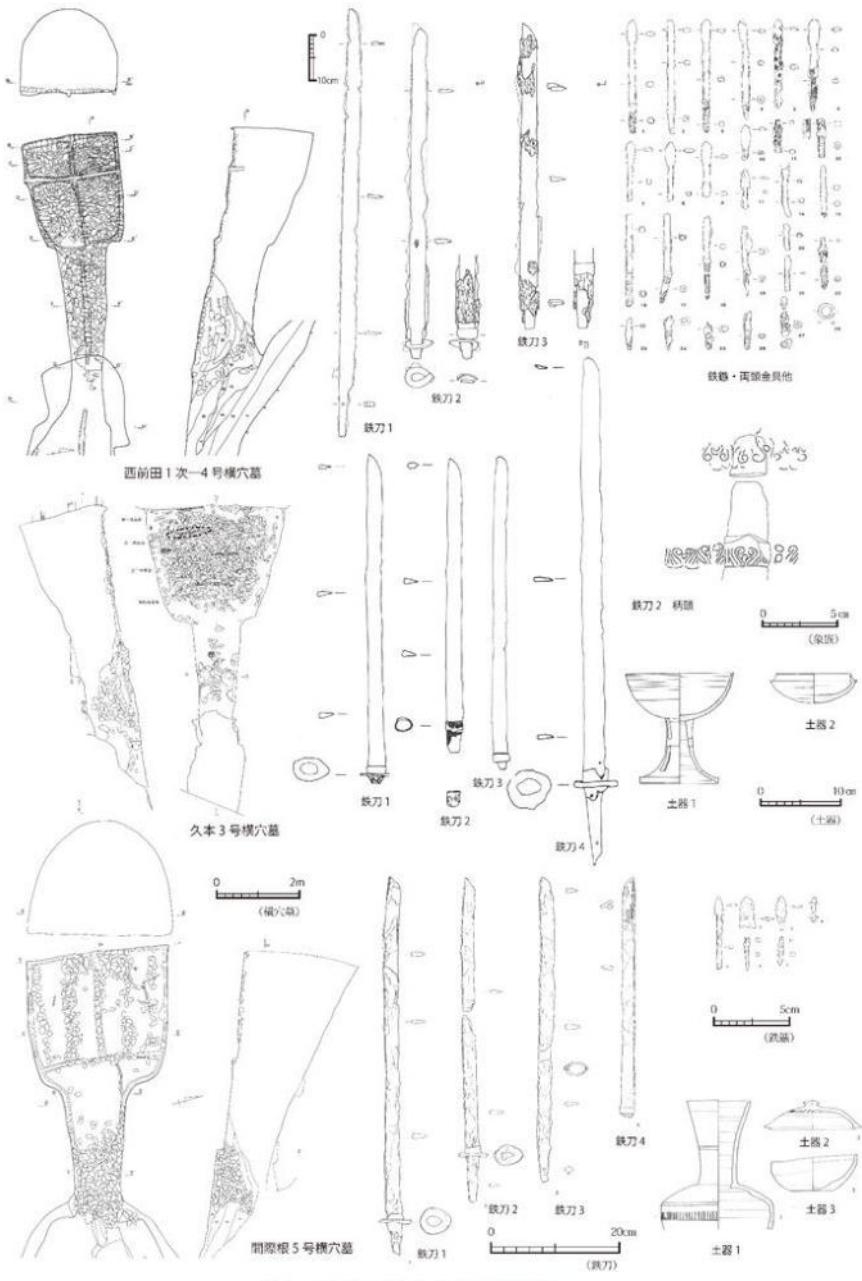
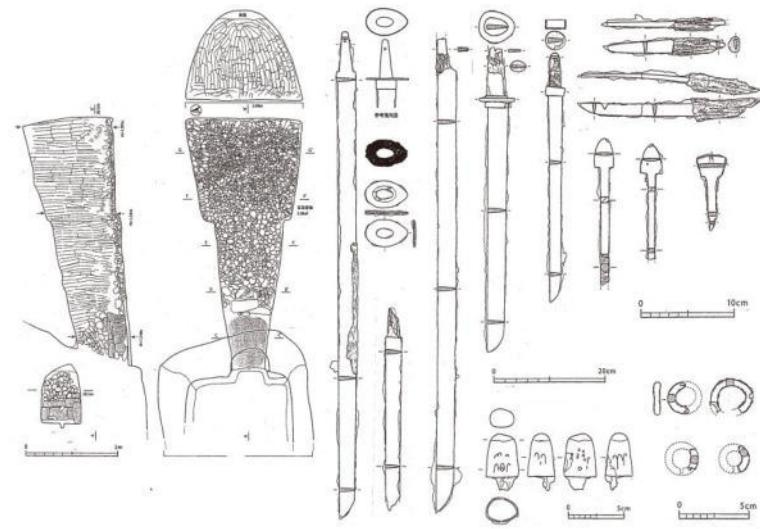
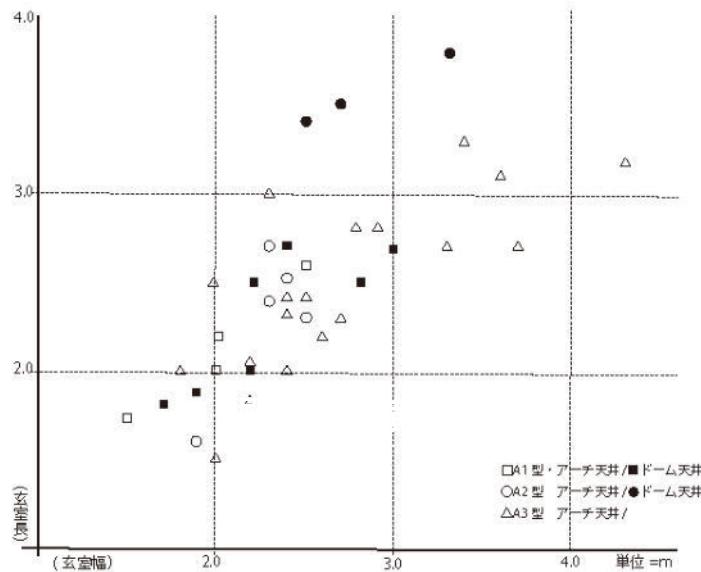


図3 津田山丘陵および周辺の横穴墓

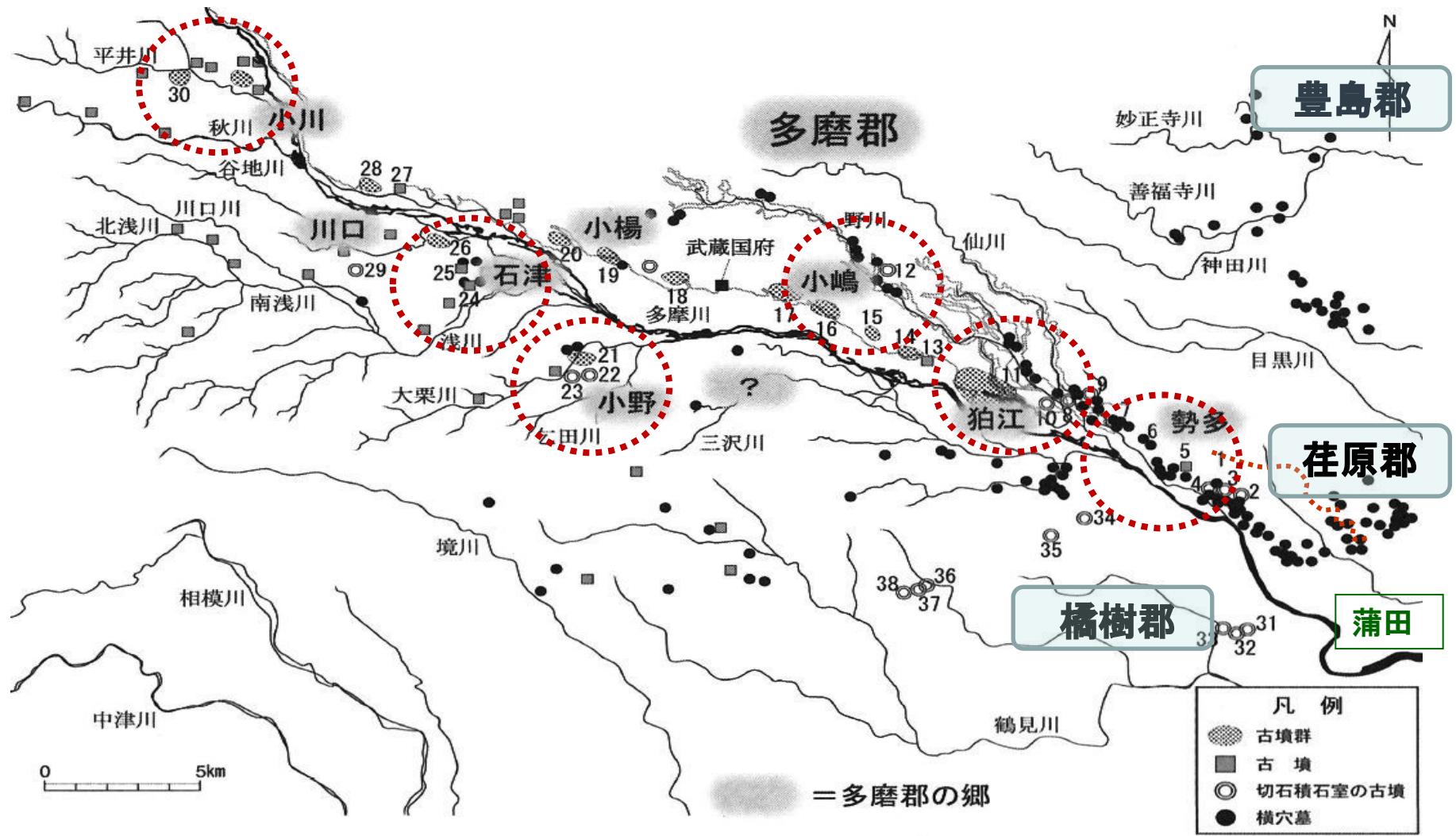
# ● 多摩川中流域の横穴墓群の比較



殿山3号横穴墓

時期	TK43	600年	TK209	TK217	640年
墓室構造	有袖矩形平面				
	複室矩形平面				
	無袖撥形平面	■■■■			
	石棺(造付・組合せ)				
	主軸排水溝				
	有段屍床	■			■■■■
	界石・石障区分				■■■■
	規模縮小				■■■■
	ドーム形天井			■■■■	
	アーチ形天井	■■■■			

## ● 和名類聚抄にみる郷名と比定地



# 本日のまとめ

- ・南武藏では6世紀後葉から石室墳と併行して、横穴墓群が多く形成される。
- ・多摩川流域は横穴墓の密集地帯であり、前方後円墳の消滅後に急速に分布域を拡大する。
- ・荏原郡・橘樹郡域に墓室内部に石棺を内蔵するものが初期に出現することから、横穴墓制が河内や東海地方から伝播した可能性がたかい。
- ・畿内系器物(威信財)が横穴墓に副葬される事例も多く、7世紀代に畿内系豪族との関係を有する新興集団(職能集団等)の存在が窺える。
- ・埋葬人骨の特性から横穴墓集団には、伝統的な縄文形質を残す人々も含まれていることから、横穴墓に葬られた人々は外来系を含む多様な集団構成を有していた。
- ・古墳時代終末期に展開する横穴墓群は、畿内の倭王権による地域統合が進行する中で、地域の開発(氏族)集団としての役割を担う存在であった。

■

横穴墓群の解明なくして、東京の古代史は語れない！！

# ご清聴ありがとうございました！



## 本の宣伝

判型・ページ数	四六・272ページ
定価	1,980円(税込)
在庫	在庫あり